あか牛

第6号

1960.7

社団法人 日本褐毛和牛登録協会

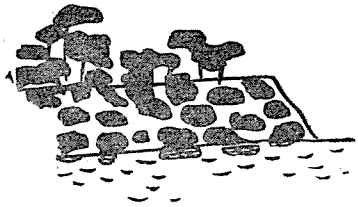
The Japanese Brown Cattle Society.

昭和34年度 登録登記頭数 会員入会数 一覧表

（昭 35. 3. 31 現 在）

区分 / 県別	登録登記頭数						会員数	
	本登録	予備登録	補助登記	基礎登記	積登記	計	新入会	累計
熊本	五〇一	三、二八六	一、九七八		三、〇八七	二七、七五二	二、四一五	三六、七五〇
長崎	五	二	五	四四六	九三	五七〇	二	七三
福岡	一七	一八			四	三九	二	三二三
長野	一七	六七	七六	一七八	五三〇	八六八	四一〇	六、六六四
山梨								
新潟	一	九	一五		七	三二	二六	六三
群馬	二	一三	一五	一二〇	七九	二三九	一〇三	一〇三
茨城	八	二〇	三四	三〇	四四	一三六	四六	一、一九一
栃木	五	二五	一〇	一	二三	六四	三四	五〇九
埼玉	六	一九	二	二八	七四	二九	二六	五七二
福島	一四	二二九	二五四	一〇	六九〇	一、一九七	四〇六	一、五二九
宮城	五					五	五	六八八
秋田	二	五〇	九七	六九	四四五	六六三	二五七	一、七八一
千葉							〇	一
富山							〇	一
大分	三	五二	四四		一八〇	二七九	六五	二六七
宮崎	一	八				九	二	二三
計	五八七	三、七一七	二、五〇〇	八八二	二四、二五六	三一、九七二	三、八二八	五一、一六六

あか牛



No. 6

1960. 7

目次

褐毛和牛における審査得点の遺伝力について……九大農学部　古賀　脩……2

牛の流行性感冒（流行熱）について九州地区の発生を中心として……家畜衛試九支場長　岩科　一治……10

褐毛和牛の第三次短期肥育試験成績……茨城県種畜場……15

会報……26

ニュース……40

登録集報……45

褐毛和牛における審査得点の遺伝力について

九州大学農学部　古賀　脩

まえがき

本稿は岡本正幹・古賀脩・松尾昭雄の共同研究の報告として、九州大学農学部学芸雑誌に公表するために、目下印刷中の論文の内容を、できるだけ平易に解説する目的で執筆したものである。もつとも内容の一部である総得点の変異については、著者等の一人である岡本教授が、本誌の第五号にすでに紹介しているので、今回はその部分を省略しその他の部分とくに部位別得点の変異と遺伝力とを重点的にとり上げることにした。

研究の目的

現在のところ、和牛の改良はほとんど体型審査の得点だけに依存した選択登録によつて進められているのに、そのいわば唯一の指標である審査得点が、どの程度に遺伝するものなのか、まつたく検討されていないので、この方法による選抜の有効性について反省する資料が得られない。著者等はこの点の不備を補うことを目下の急務であると考えたが、このほかに審査部位の区分、あるいは配点の合理性などについても、検討の資料を得たいという目的で、総得点だけでなく、全部の部位について得点の遺伝力を評価した。

材料と方法

材料は「あか牛」第五号に述べられた方法で抽出した、三七五例の娘と母の対を用いたが、部位別得点では記載の不備なものがあつたので、これを省いて三五八例を標本とした。

遺伝力の評価は、母と娘の似通いの程度から推定する父系内娘母回帰法、同相関法、および半姉妹（ここでは父が共通）の似通いから求める父系内半姉妹相関法によつた。

なおここで取扱つている部位別区分は、旧標準の規程にしたがつたものであるが、これは資料そのものが旧標準時代の記録からとられたからであることを附記する。

総得点の遺伝力

総得点の変異は省略し、評価された遺伝力をとりまとめると第一表のとおりである。

第1表　総得点の遺伝力

父系内娘母相関法		父系内娘母回帰法		父系内半姉妹相関法	
相関係数	遺伝力	回帰係数	遺伝力	相関係数	遺伝力
0.162	0.324	0.176	0.352	0.023	0.092

ここに見られるように、娘母の関係から評価した遺伝力はよく一致しているが、これらと半姉妹の関係から評価した遺伝力とはかなりちがつている。この理由としては、娘母の関係からの評価には多少とも母性効果、すなわちこの場合には娘と母とが同一人によつて飼養されているという、わが国の農家に特有な事情が関係していることが考えられる。

また半姉妹の関係からの評価には、父方の分散を問題にするので、優性効果などの誤差が介入していることも考えられる。と同時にこの場合は相関係数そのものに有意性が見られないので、これを基礎として遺伝力を評価することにも問題があるようである。一方外国の肉牛について、若雌牛の満一年の体型等級を取扱つている例では、遺伝力を〇・三前後と評価しているものが多く、ここで得られた娘母の関係からの評価とよく一致している。これらの点から考えると、理論的には多少の問題があるとしても、娘母の関係からの評価の方が、現実的には好ましいと言えるかも知れない。

選抜による遺伝的進歩の程度は、選抜差（選抜された個体群の平均値から集団の平均値を引いたもの）に遺伝力をかけたものであらわされるが、選抜差はあまり高いとは考えられないので、総得点による選抜では早急の進歩は期待できないにしても、以下にのべる部位別得点にくらべると、まずある程度の有効性が期待できそうに思われる。

部位別得点の変異

審査の対象となつた十七部位について、娘牛および母牛の得点の平均値をとりまとめて表に示すと第二表のようになる。ここで得点は取扱いの便宜上得点率で示しており、合計はこれにおのおの配点率をかけて合計したものである。これで見ると一般に各部位とも標準偏差は非常に小さく、多数の個体が得点率七六％内外のところに集中していることが示されている。総得点の場合にも同じような傾向が見られたが、これは現在の附点法の変異巾、すなわち区分される階層の数に検討を要する点があることを示すものといえよう。

第2表　娘牛と母牛の部位別得点

部位	配点	得点（平均値±標準偏差） 娘牛	母牛
	%	%	%
頭　顔	7	76.42±1.21	76.03±1.32
頸	3	76.17±1.31	75.84±1.32
肩	8	74.86±1.49	74.96±1.62
胸	6	77.13±1.44	76.24±1.31
腹	6	77.28±1.83	77.32±1.79
腰角	6	76.49±1.58	76.45±1.62
肋	4	76.34±1.46	75.84±1.41
脊	5	75.96±1.26	75.32±1.45
十字部	5	75.18±1.26	74.99±1.27
尻	5	75.58±1.17	75.88±1.47
寛	4	76.54±1.34	75.80±1.29
尾	5	77.23±1.42	77.52±1.93
腿	8	75.58±1.55	75.57±1.39
臀	6	76.40±2.03	76.28±1.75
性器	7	76.62±1.51	76.13±1.37
乳徴	8	76.66±1.31	76.34±1.46
肢蹄	7	75.40±1.56	75.25±1.40
被皮			
均体			
性毛			
歩称			
質			
積			
位			
様			
計	100	76.19±1.47	75.97±1.49

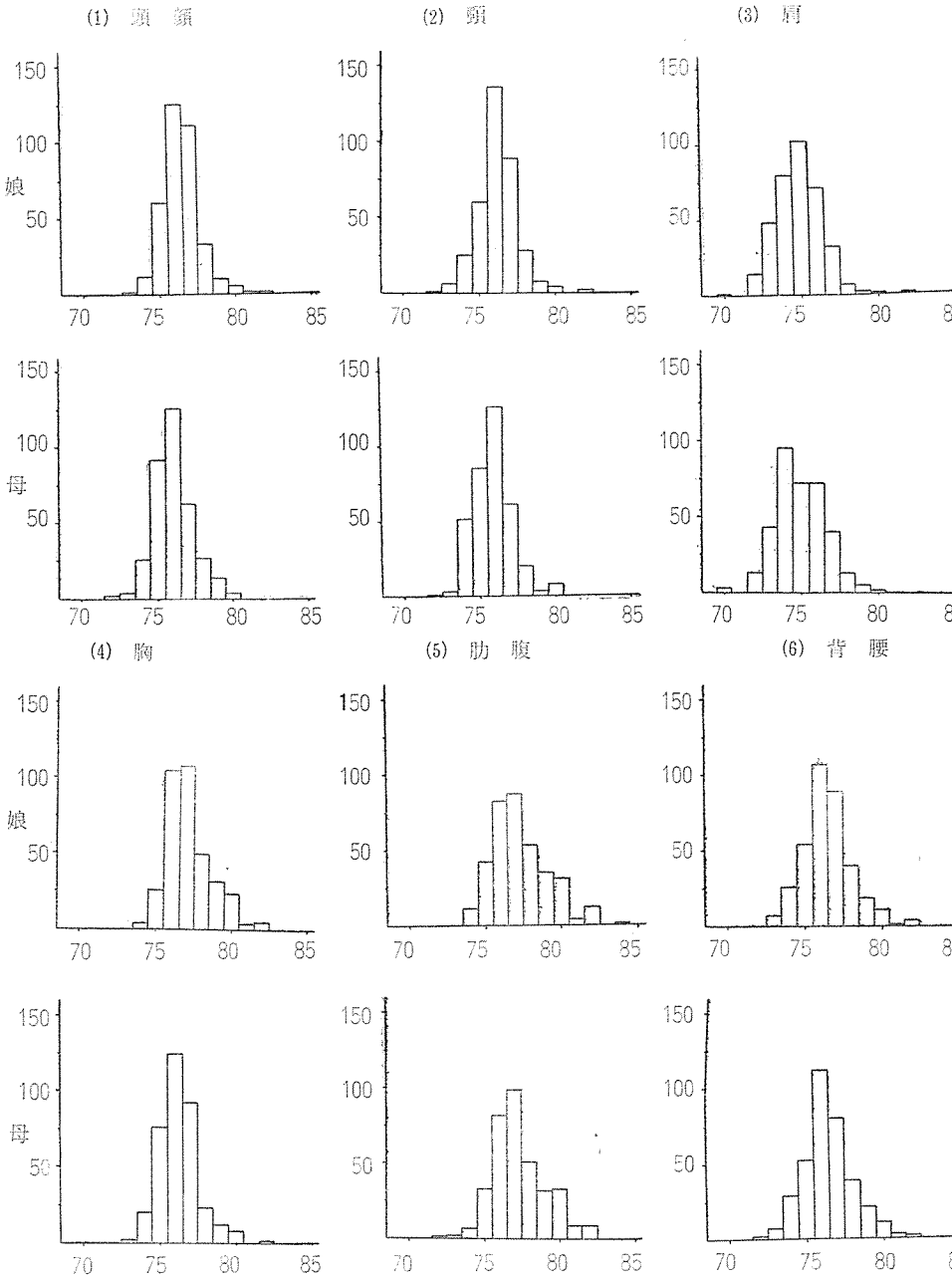
部位別の得点を相互に比較すると、一応よく似ているように見えるが、統計的には有意の差があるものも少なくない。とくに高いのは乳徴性器および肋腹で、低いのは肩および寛である。これらはおそらく附点の規準が部位によつてかなりちがつていることによるものであろう。具体的にいえば、当時の配点区分が黒毛和牛の審査区分に準拠したものであつたため、附点のさい無意識的に黒毛和牛と比較し、その長所・欠点を過大視したことによるものであろう。その意味では褐毛和牛の体型を基礎とした附点が行なわれるべきであるように思われる。

つぎに部位別得点の分布を、娘牛と母牛ごとにまとめて図示すると第一図のとおりである。

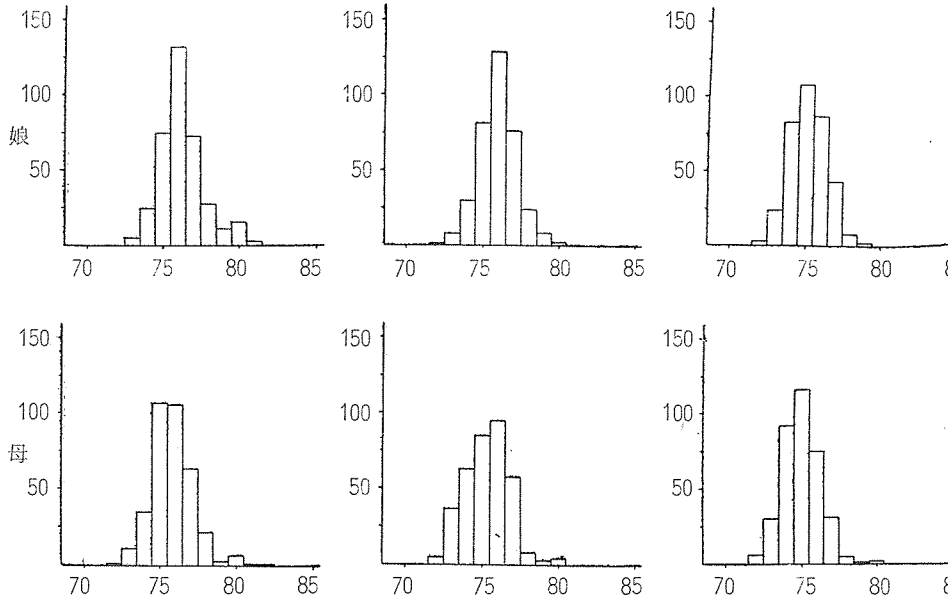
これらの分布の状態は少数の例外を除けば概して正規分布に近く、総得点で示された分布（第五号）の特異性は見られない。

また分布の拡がりは部位によつてかなり異なつているが、これは個体によつて優劣の差が大きい部位と、ほとんど差をつけ難い部位があることを示すものである。

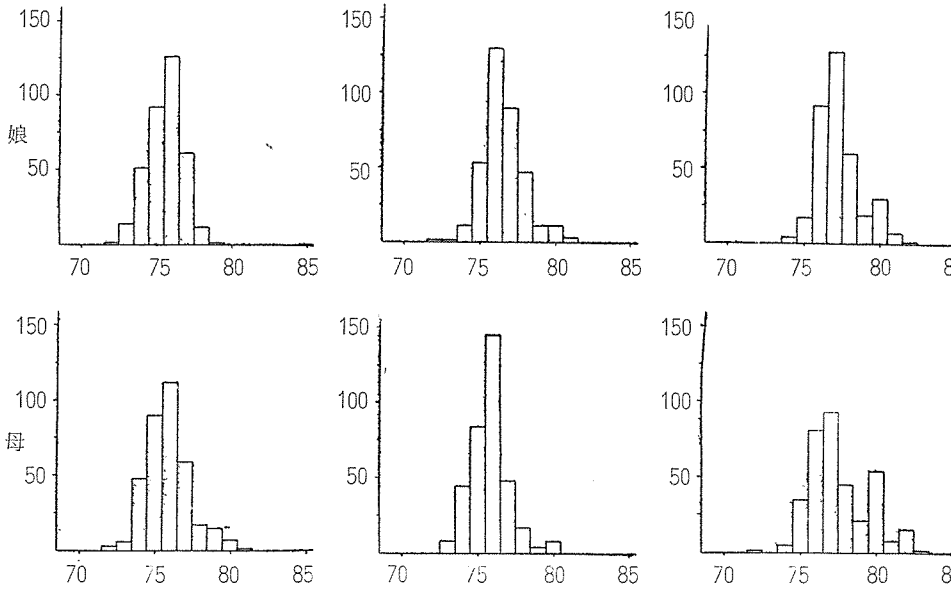
第1図　審査部位別得点の度数分布図



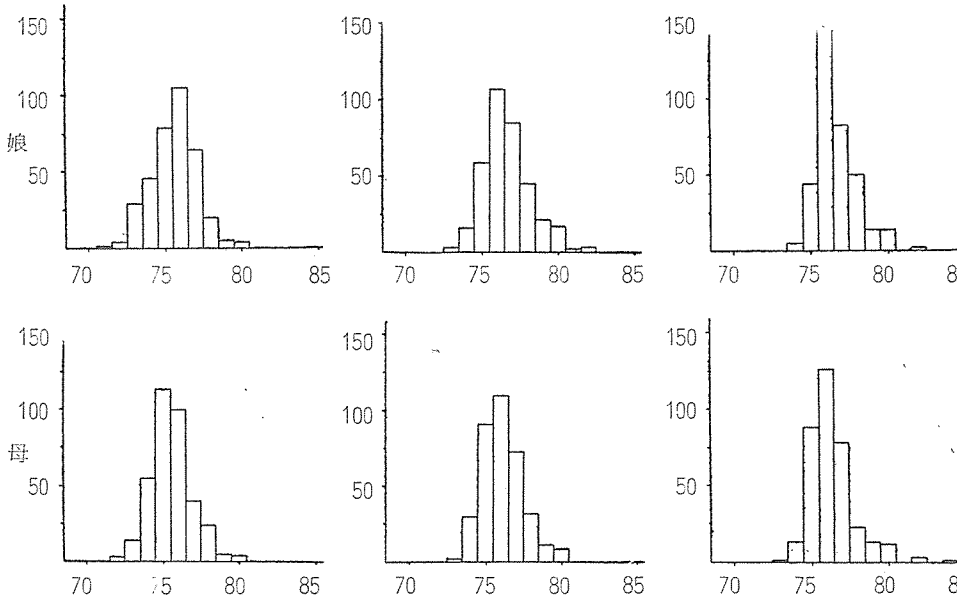
(7) 十字部腰角　　(8) 尻　　(9) 寛



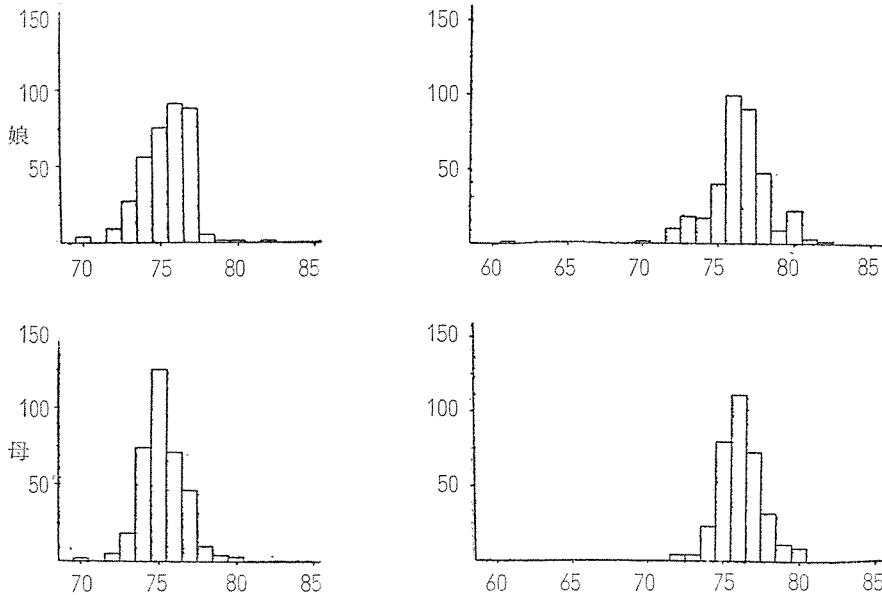
(10) 臀尾　　(11) 腿　　(12) 乳徴性器



(13) 肢蹄　　(14) 均称体積　　(15) 性質品位



(16) 歩　様　　(17) 被毛皮膚



部位別得点の遺伝力

部位別得点の遺伝力を評価した結果をとりまとめると第3表のようになる。

この表によると遺伝力の値は部位によって非常に異なりほとんど問題にならない程低い部位が少なくないこと、および評価の方法によって著しくちがつており、しかもその差のあり方に一定の方向が見られないことがわかる。

この部位別の差については、乳牛で母と娘との関係から遺伝力を評価した例があるので、品種もちがつているし部位のとり方も一致していないが、参考のため第4表に引用しておこう。

第3表　部位別得点の遺伝力

部位	父系内娘母回帰法		父系内半姉妹相関法	
	回帰係数	遺伝力	相関係数	遺伝力
頭顔	0.139	0.27	0.105	0.42
頸	0.215	0.43	0.021	0.08
肩	0.034	0.07	0.041	0.16
胸	0.094	0.19	-0.008	---
肋腹	0.076	0.15	0.024	0.10
脊腰	0.071	0.14	0.037	0.15
十字部腰角	0.035	0.07	0.044	0.18
尻	0.029	0.06	0.085	0.34
寛	0.011	0.02	0.025	0.10
臀尾	0.008	0.02	0.026	0.10
腿	0.157	0.31	0.059	0.24
乳徴性器	0.092	0.18	-0.010	---
肢蹄	0.180	0.36	0.006	0.02
被毛皮膚	0.101	0.20	0.009	0.04
均称体積	0.038	0.08	0.121	0.48
性質品位	0.044	0.09	0.014	0.06
歩様	0.094	0.19	-0.011	—

第4表　部位別審査等級の遺伝力評価例

フリーマン及びダンバー(1955)*		ベエローセク　(1957)**		
部位	遺伝力 娘母回帰法	部位	遺伝力 娘母相関法	遺伝力 娘母回帰法
頭・頸	30%	一般外貌	24%	24%
肩・胸	15	肩	22	20
中軀・腰	31	尻	28	28
尻・腿	32	乳牛の特質	16	16
肢・蹄	18	体積	24	22
乳房の大きさと形	8	乳房	24	24
乳房の附着	6	前乳房	24	22
乳房・乳脈・乳頭の質	27	後乳房	26	26
一般資質	13	乳頭の配置	32	30
品種の特徴	32	総合等級	26	26
総合等級	31			

*エアシヤー種　　**ガーンヂー種

今回の成績をこれと比較すると、一般的にいえば多少低い程度で極端な差はないようである。一方、半姉妹相関法によったものは、現在のところ部位別評価の例が見当らないので他との比較ができない。しかしここに得られたような評価方法による差の中には、さきに総得点のところで述べた母性効果あるいは優性効果、上位性効果などでは説明の困難な点も少なくない。たださきにも触れたように相関係数そのものが有意でないときは、これから求めた遺伝力は誤差がますます大きくなることに注意しなければならないだろう。それにしても、大部分の部位で遺伝力はかなり低く評価されたので、このような部位では個体選抜によつては急速な遺伝的進歩が期待されないことを、考慮に入れておく必要があると思われる。同時にまたこのことから審査項目をあまりに細分するのは無意味であつて、重要な少数の部位に統廃合する方が合理的であるということもいえよう。

またこのことと関連して、現在の配点率にも検討の余地があるようである。たとえば筆者等の計算では、総得点と均称体積の得点との間に〇・八という高い相関があることを見出している。これは現在の附点慣行によつても、均称体積が相当重要視されていることを示すものと思われるがそうであれば配点率にこれを反映させるような手段がとられる方がより妥当であるように考えられる。

むすび

以上体型得点の変異と遺伝力とについて述べたが、ここに得られた結果は今後の附点審査法に示唆を与える点が少なくないようである。なかでも、適正な附点が行なわれ得るための階層区分の合理化、ならびに無意味な審査部位の統廃合と配点率の改正などは、早急にとり上げられなければならない問題であろう。このような処置がとられることによつてはじめて、審査得点による選択登録が褐毛和牛の改良と直接に結びつくことができるものと考えられる。

牛の流行性感冒（流行熱）について
九州地区の発生を中心として

家畜衛生試験場九州支場長
農学博士　岩　科　一　治

まえがき

吾が国の発生の歴史を見ると明治二二年（一八八九）から明治二十六年（一八九三）に亘つて、九州、中国、近畿に流行を見たのが最初のようであり、更に明治四十一年（一九〇八）から明治四十三年に大流行があつたことが記録されており、戦前の発生としては、これらが記載されているのみである。然し、これらが戦後に流行したものと一致するものかどうかは明確でない。戦後においては昭和二十三年（一九四八）から昭和二十六年（一九五一）に九州から流行が始つて、関東地区に蔓延して畜牛界に大きな被害を与え、特に乳牛界の被害は甚しいものがあつた。更に昭和三十三年（一九五八）には戦後第二回目の発生があり、本年は流行第三年目に相当する年である。過去の歴史を見ても明らかなように、当然本年は多少に拘らず発生が見られる年と考えて、大いに警戒を要するものがある。

この時に当つて、昭和三十三年に流行したものと昨年発生し流行したものとの相違などについて比較検討して見ることは、今後の家畜防疫に何らか益するところもあらうと考える。

発生

三十三年度の調査によると八月中旬が発生の初期と見られている。この時期には流行性のものとは考えずに、単に悪性の感冒として取扱つていることが共通した点である。これも流行性感冒の初期診断が困難なことに原因するし、臨床的症状も明確を欠く時期であるから止むを得ない点もある。九月中旬には南九州一円に蔓延し、鹿児島県下で約三十％の三万五千頭の発生と死亡牛百頭を示し、宮崎県都城周辺で罹病率三十九％、死亡率一、六％、熊本県南部では和牛十二％、乳牛三十三％の発病率を示している。

これらの地区での発生も十月下旬から十一月上旬には一応の終熄を見ているが、この終熄も北部から気候が冬期型に移行するに順じているようである。

三十四年度の発生は八月中旬から発生したものと推測はしているが、反省的調査によると七月の中旬には初発があつたのではないかと想像される点が多いし、又九州地区に発生したものと全く同一のものかどうかは明確さを欠く点もあるが、関東地区にも類似疾病が注目されて調査の対象

となつていたことは事実のようである。従つて前年度の蔓延の型とは異つたものがあつたと考えざるを得ない。

前年度と比較して発生頭数が少いようであつたが、流行期間は延長されて十二月に入つても散発の形をとつたものと考えられるし、九州北部への蔓延が比較的遅れていたことも前年度とは異つた点であつた。蔓延の速度も前年の型が急速であつたのに比して、本年度の流行は散発的緩慢性のあつたことも特徴的であつた。罹患牛の死亡率については前年度が一％程度であつたのに、三十四年度は遙かに高く一五％も示したところがある。

全国的に見ると、伊勢湾台風を契機として非常に発生が多くなつたことからも、気象との間に相関性があるもののようである。

三十四年度の発生と気象との関係を検討してみると、発生時には湿度が高く八〇％程度であつて、最低と最高温度の差が少く、即ち日中、夜間の気温が二十五、六度の高い温度が持続しており、その後に多発したことを示している。九州地区では高冷地帯には発生が見られないと言うことも特徴的と言つて良いだろう。

又現地での調査からして、病牛の発生した牛舎の環境条件は、前述の気象条件を一層悪化させる傾向が見られたことは、南九州地区の気象を考慮に入れて、特に夏期にかけて通風換気の点、或は堆肥舎の位置並に衛生的構造などは家畜の管理上に重視しなければならない点であることを物語つて余りあるものがあり、多発時期が農繁期であることから、使役後の手入などについては等閑にすることは絶対に許されない要件と言うべきで、風邪引きの原因となり、本病の誘因となることに注意しなければならない。

臨床症状

三十三年度までに発生した患牛は突然高熱を発して（四〇―四一度）二、三日の経過で熱分利したが、三十四年度に発生したものは熱発が余り顕著に現われないか、一過性の熱発の後、降下するものか、急激な高熱を認めた患牛はなかつたことが共通した特徴であつた。

一般症状としては、呼吸促迫、食慾不振或いは廃絶、胃腸の蠕動減退又は停止、体温不整、関節痛がみとめられた。三十四年度の患牛に見られた特徴とも言いたいものは嘔吐症状が強く現われたものが三十％以上も見られたし、流涎、皺脹、鼻汁過多、反芻不良などは特徴的症状として注目しなければならない。三十三年度発生例では、症状軽快後の恢復期の二次的症状として、咽喉頭麻痺をみとめる。ものが約四％程度出現したが、三十四年度はこれが症状を示すものは少く、寧ろ発病の初期一次的症状として、前年度は呼吸症状に特徴を示したが、これがなく嘔吐、逆流な

どの症状をみることが異つた点である。即ち嚥下困難を伴うものが多く現われ、飲思がありながら嚥下できないため第一胃内容は乾固し症状は益々悪化し、死の転帰をとるものが増加した傾向にあるようである。これらの点から考えても水分の補給は絶対必要条件と考える。牛の反芻点とも言うべき食道の中央部が麻痺するとも言われるので、第一胃に食道カテーテルで直接的水分補給が必要であろう。

血液所見

症状からして当然血液は濃縮の傾向が現われ、血液像においては、三十三年度の病例が好中球の核左転を示したことを特徴としていたが、三十四年度の病例では、この所見が余り顕著に現われていないが、少数例には軽い左転を示したものもみとめられた。

解剖変状

三十三年度の解剖で注目された変状は、肺の間質性気腫、肺出血、肺水腫、胸腔及び頸部淋巴節の充血出血が著明であり、気管、気管支粘膜、粘膜下織、筋層の出血、咽喉頭部粘膜、粘膜下織、筋層の出血、胸腺の出血、軀幹筋の出血、舌の出血、胃内容の脱水硬結などであり、三十四年度の解剖例からは、肺気腫、肺の肝変、脾の出血、萎縮、気管の充出血、腸の充出血、食道の灰白斑、又は出血などが特徴的変状であり、前回にみとめられなかつた食道の変状は今回の流行に出現した変状の最も注目された点であつた。

今回の患牛の特徴であつた嘔吐を主徴とする病例の多くが、殆んど体温四〇度前後の比較的低い熱発で、顕著な熱反応を示さないことも注目に価し、治療面にも大いに考慮すべき点であらう。

治療方法

現在のところでは有効適確な治療方法がないとは言え、以上に述べた臨床的症状或は病理変状を考察して結果されるものは、先づ水分の補給は絶対的必要条件と言つても過言ではなかろう。食道の反芻点の麻痺が大きな原因となつていると言われることからも、胃内に直接的に水分を補給するカテーテルを用いることと同時に血液の濃縮を防ぐため、生理的栄養液による水分補給を静注することが必然的に要請されるであろうし、又出血が大きな変状である以上止血剤の必要性が生じて来る。然し乍ら、これらはどこまでも対症療法で、病原を根治する目的にはならないと考える。

病原体

病原体はウイルスであることには間違いはないが、これらの性状については明らかにされていない点が多々ある。これも牛以外の感染小動物が確認されていないことも大き

な暗礁である。

三十三年に発生したものについては、一応の試験結果からして過去に分離された北研株と免疫学的には一致するものとして考えられてきたが、三十四年度に新に鹿児島、茨城県下で分離されたものについて検討した結果は免疫学的に異つた性格を持つたものと考えられるし、北研株に類似した株も分離されていることから、所謂流行性感冒の中には性格的には複数と考えなければならない病原が分布しているものと言えよう。

今後の処置

三十三、四年の二ケ年連続して発生した九州特に南九州地区には、第三年目として三十五年度発生必須と見なければならない。これは歴史の示す処であるから、早期に警戒態勢に入ることが必要であり、前述したように、本病が気象的条件に支配されること、即ち、最近言われる人体不快条件と言う気象条件に対処するために、畜舎の改善を早急に実施し、通風、換気、採光、乾燥のための必要条件をそなえることが必要である。

一方動物体については、肝蛭など寄生虫罹患牛は本病に感染し易いと言はれているので、肝蛭の駆除も実施したいものであり、肝蛭駆除地区率は発生が低かつたことを経験している地区もある。最近は反応も少く、飼料に混合の上投与し得る、使用し易い動物用ビチンなどが使われ始めたことは、肝蛭駆除も手数がかからず容易に実施し得よう。

一度発生を見たなら、伝染病であるからには、蔓延防止につとめると同時に、病原の撒布を防ぐため、消毒を厳重にすることと、当然移動禁止が行われなければならない。牛個体については熱分離後二週間経過したものは恢復として、防疫措置から開放される。

予防

発生を誘発する環境条件の除去改善を早急に実施する一方には、積極的な予防注射の実施も行わねばならないが、現在の研究段階では、北研株による予防液が許された範囲であり、三十四年度に分離されている病原も一応対象と考えて、分後は複数性の予防液を検討する段階に入つたものと考える。

又将来の検討課題として、季節的条件と発生との相関性が推測されることから、媒介昆虫の意義についても検討を要するものがある。農家の人畜の環境衛生的見地からも、昆虫類の駆除にも留意することが肝要である。

尚、これらの問題を解明してゆく手段として、皆さんの御協力を特に切望する所以は、検査に必要な材料を速かに入手することであり、各県畜産課衛生係並に各地に散在する家畜保健衛生所と連絡を密にして目的達成のための御協

力を願いたいものである。農家の方々も相互連絡の上、病原撒布を防ぐことが先づ防疫の第一義であることを忘れてはならない。

〃治にいて乱を忘れず〃の諺どおりに、常に予防と衛生に留意することは、引いては農家経済を安泰たらしめる結果となろう。

まとめ

今日までに発生した牛の流行性感冒が、単一なものではなく、臨床的にも複雑な症状を示しているし、三十三年度に流行した感冒と三十四年度に発生したものでは、可成りの相違点がみられ、熱発と言う点から見ても臨床診断に困難が生じてきて、呼吸器症状と消化器系の症状が相反する現象を示すことなどがあげられる。従つて罹患牛の死亡率が非常に上つたことは、一方から見ると病原の複数性を物語るものであろう。

（一九六〇・五・一九）

褐毛和牛の第三次短期肥育試験成績

（雌牛の短期肥育）

茨城県種畜場

I 緒言

本場においては昭和三十一年度より本県下の畜牛肥育の指針として褐毛牛の肥育をとりあげ、毎年継続試験を実施して来たが、今年度は特に黒毛和牛と褐毛和牛の経産牛を用いて、短期肥育を試験したので、その結果を報告する。

II 試験方法

本試験では附近農家より比較的経歴資質の一致した黒毛和牛と、褐毛和牛各一頭づつを入手して、これを一般農家に身近な飼料を用いて次のような方法で一〇〇日間の短期肥育を実施した。

(1) 供試牛（素牛）

供試牛は農家が労役、繁殖に供し、肉用として業者に売却したものをそのまま譲り受けたもので、購入の状況は第一表のようであつた。

第一表 供試牛（素牛）

試験番号	購入年月日	年令	性	毛色	体高	体重	購入価格	経歴・資質
1	33年12月26日	5才	雌	黒毛	127.5cm	392.0kg	55,000円	経産、良好な伸びを有するが、やゝ痩せている。皮膚被毛の状況は良好である。資質中等
2	33年12月26日	4才	雌	褐毛	122.0cm	353.0kg	52,000円	経産、伸びに乏しいが、肉付普通であり、皮膚被毛の状況は1号牛より劣り、資質中等。

(2) 予備肥育

供試牛は本肥育期に入る前に本場の飼養管理に順化させ、更にこの期間に粗飼料を充分に利用させる考えから、次のように四十日間予備肥育期として一号牛は451kg、二号牛は425kgに達するまで飼育した。

予備肥育期間の飼料給与は第二表のようであつた。

第二表　予備肥育　濃厚飼料の配合及養分表

飼料	麩	米糠	麦糠	糖蜜	大麦	大豆粕	アマニ粕	ホスカル	乾物及可消化成分			
									乾物	D.C.P.	T.D.N.	栄養率
配合割合	27	20	17	5	10	15	5	1	87.3	15.3	65.6	3.3

予備肥育　飼料給与基準、養分及価格表　（体重100kg当kg量）

飼料	配合飼料	わら	とうもろこしサイレージ	さつまサイレージ	家畜かぶ	乾物及可消化成分			
						乾物	D.C.P.	T.D.N.	栄養率
配合割合	0.8	1.2	0.7	1.8	2.0	2.59	0.17	1.16	8.8

予備肥育期間　飼料給与量及飼料費　（kg円）

	配合		稲わら		甘藷サイレージ		とうもろこしサイレージ		かぶ		合計
	給与量	価格	給与量	価格	給与量	価格	給与量	価格	給与量	価格	
1号牛	149.5	4025円	197.8	415円	243.5	1631円	88.6	115円	249.2	323円	6.507
2号牛	131.2	3530	168.2	353	247.1	1655	78.8	102	219.5	285	5.925
単価	26円91銭		2円10銭		6円70銭		1円30銭		1円30銭		

(3) 肥育期間の給与飼料

給与飼料はウォルフ、レーマン、モリソン及NRC等の標準を参酌して、第三表のように給与基準を定め、出来るだけ飽食させるように努めた。濃厚飼料においては、従来の配合の種類以外に特に五%の糖蜜を配合して食欲増進につとめ、栄養素は初期に狭く三・二、後期にやゝ広く三・八、体重一〇〇kg当の給与基準は一期に一・二kg、二期に一・五kg、三期においては一・八kg給与した。粗飼料においては一期より二期、三期の順に漸減し、甘藷サイレージは稍々軟粥の傾向があるので一～二期に給与、三期に給与せず、家畜かぶも一期のみで二～三期には給与しなかつた。給与飼料全体の栄養素は一期六・四、二期六・三、三期五・〇であつた。

第三表 (a) 濃厚飼料の配合割合及び可消化養分量（%）

期別	日数	麩	米糠	麦糠	糖蜜	大麦	大豆粕	アマニ粕	ホスカル	乾物及可消化養分 乾物	D.C.P.	T.D.N.	栄養率	単価（1kg）
1 期	40日	25	14	10	5	20	15	10	1	87.2	16.3	67.7	3.2	28円44銭
2 期	30日	20	14	15	5	25	10	10	1	87.1	14.5	66.4	3.6	27. 74
3 期	80日	24	10	15	5	30	10	5	1	86.9	13.5	65.4	3.8	27. 83

(b) 飼料給与基準及び給与養分量（体重100kg当）

期別	日数	期間	給与日量 濃厚配合	稲わら	甘藷サイレージ	家畜かぶ	青刈麦類	乾物及可消化養分 乾物	D.C.P.	T.D.N.	栄養率
1 期	40 日	2月6日～3月17日	1.2	1.1	1.2	1.5	1.2	2.76	0.24	1.78	6.4
2 期	30 日	3月18日～4月16日	1.5	1.0	1.2		1.5	2.88	2.26	1.88	6.3
3 期	30 日	4月17日～5月16日	1.8	0.7			1.3	2.47	0.27	1.61	5.0

但し甘藷サイレージは品質低下のため、2期の途中においては給与を中止した。

(4) 飼養管理

供試牛の飼養管理及測定法は、前回の試験要領に応じて次のように実施した。

（a）濃厚飼料は第三表の（a）の通り予め各期分を自家配合したものを使用し、大麦は挽割つて配合した。稲藁は一期には三cm程度、二期には二cm程度、三期には一・五cm程度に切断し、熱湯に三〇分以上浸してから、配合飼料及細切した粗飼料とよく混和して温いうちに給与した。

（b）飼料給与量は十日目毎に牛衡器で体重を測定し、各期の体重に応じて給与量を決定し、残飼があれば秤量して採食量を算定した

（c）飼料の給与は次表のような割合で、一～二期は午前七時、十一時、午後四時の三回に分与し、第三期においては更に午後九時を加えて四回に分与した。

飼料日量の分割給与の割合

期別	給与回数	朝飼（午前7時）	昼飼（午前11時）	夕飼（午後4時）	夜飼（午後9時）
1～2期	3回	30%	30%	40%	
3期	4回	25〃	20〃	20〃	35%

（d）食塩は日量七〇～一〇〇gを、カルシウムは「ホスカル」を飼料中一%配合して給与した。

（e）水は微温湯を与え、日量20～kgを二回に分け食間に与えるようにした。

（f）牛体の手入は食慾増進と体脂肪の偏着を防ぐために、毎日十五～二十分間藁束で全身（特に肋背）を充分摩擦してからブラシで撫拭した。

（g）食慾増進のため雨天以外は一～二期において毎日三十分位の牽運動を実施した。又全期間を通じて晴れた日は午前十時頃三十分一～時間屋外に繋いで日光浴を行つた。

（h）牛房は個室で1.5×2.0間のコンクリート床、周囲

板張のものを用い、すき間の入らぬよう板壁の間隙には目張をし、板壁と天井の間隙及びガラス窓には帷を張つて舎内の保温に留意した。

(5) 試験期間

昭和三十三年十二月二十七日より三十四年二月五日までの四〇日間を予備肥育期間とし、二月六日より五月十六日までの百日間を本肥育期間として、これを第一期四十日、第二期三十日、第三期三十日に区分して行つた。

Ⅲ 試験成績

(1) 増体量及牛体各部の増加量

十日目毎に行つた体重及各部の測定値は第四表に示すとおりであり、体重及胸囲の発育線は別紙第一図に示すようであつた。又、各期における期別の増体量の比較は第五表の通りであつた。

第四表 胸囲体重測定成績 (cm kg)

	部位 ＼ 測定月日	本肥育開始前 2月5日	第1期 2月15日	2月25日	3月7日	3月17日	第2期 3月27日	4月6日	4月16日	第3期 4月26日	5月6日	5月16日
一号牛	胸囲	182.0	185.0	186.5	187.0	187.0	188.5	191.0	192.0	193.0	194.0	196.5
	体重	480.0	491.0	499.0	503.0	506.0	506.0	529.0	537.0	544.0	544.0	563.0
	増体指数	100	102.3	104.0	104.8	105.4	105.4	110.2	111.9	113.3	113.3	117.3
二号牛	胸囲	182.0	185.5	186.5	188.5	189.5	190.0	190.5	194.0	195.5	197.5	201.0
	体重	425.0	443.0	450.0	469.0	476.0	488.0	488.0	505.0	511.0	529.0	551.0
	増体指数	100	104.2	105.9	110.4	112.0	114.8	114.8	118.8	120.2	124.5	129.6

第五表　期別増体量の比較

試験牛	区分＼期別	第1期（40日）	第2期（30日）	第3期（30日）	全期（100日）
1号牛	増体量	26,0 k	31.0 k	26,0 k	83,0 k
	1日平均増体量	0,65〃	1,03〃	0,87〃	0,83〃
	各期における増体量の割合	31,3%	37,4%	31,3%	100%
2号牛	増体量	51,0 k	29,0 k	46,0 k	126,0 k
	1日平均増体量	1,28〃	0,97〃	1,53〃	1,26〃
	各期における増体量の割合	40,5%	23,0%	36,5%	100%

(2)　飼料給与量及び採食量

飼料給与量はウォルフ・レーマン、モリソン、N.R.C.等の標準に基いて設計した第三表の飼料基準により、十日ごとの体重測定の結果に基いて給与毎に残飼量を秤量し採食量を算定した。その成績は第六表に示す通りであり、試験期間の乾物摂取量は第七表のようであつた。

第六表 採　食　量　表

(a)　1 号 牛　(予備期)　(第1期)　(第2期)　(第3期)

月日 / 飼料	12.28〜1.6	1.7〜1.16	1.17〜1.26	1.27〜2.5	計	2.6〜2.15	2.16〜2.25	2.26〜3.7	3.8〜3.17	計	3.18〜3.27	3.28〜4.6	4.7〜4.16	計	4.17〜4.26	4.27〜5.6	5.7〜5.16	計	1〜3期総計
																			kg
稲藁	34.9	49.9	52.4	60.6	177.8	58.6	58.8	58.4	58.1	233.9	58.3	50.3	53.3	161.6	35.1	27.1	34.2	96.4	472.2
甘藷サイレージ	59.7	42.0	65.5	76.3	243.5	62.6	62.8	62.4	63.0	250.8	48.0			48.0					298.8
とうもろこしサイレージ	19.9	21.0	22.3	25.4	88.6														
家畜かぶ	44.8	50.0	52.7	101.7	249.2	79.4	79.8	79.2	78.5	316.9									316.9
青刈						62.6	62.8	62.4	63.0	250.8	57.8	75.5	79.9	213.2	66.5	53.2	64.5	184.2	648.2
濃厚飼料	29.9	42.0	36.5	41.1	149.5	62.6	62.8	62.4	63.0	250.8	72.0	75.5	79.9	227.4	91.2	95.7	105.6	292.8	771.0

(b)　二 号 牛

																			kg
稲藁	33.8	38.8	44.7	50.9	168.2	45.0	44.1	48.1	50.5	187.7	33.6	40.1	43.4	117.1	30.9	23.8	24.9	79.6	384.4
甘藷サイレージ	56.0	70.9	56.2	64.0	247.1	48.7	47.8	51.9	55.3	203.7	42.4			42.4					246.1
とうもろこしサイレージ	19.3	19.4	18.7	21.4	78.8														
家畜かぶ	43.5	46.6	44.6	84.8	219.5	61.8	60.6	65.4	68.9	256.7									256.7
青刈						48.7	47.8	51.9	55.3	203.7	51.3	59.7	64.6	175.6	57.3	47.5	49.8	154.6	533.9
濃厚飼料	29.0	38.8	29.5	33.9	131.2	49.6	47.8	51.9	55.3	205.5	63.7	59.7	64.6	188.0	79.4	85.6	89.6	254.6	648.1

第七表　試験期間の乾物摂取量

	1　号　牛	2　号　牛
試験開始体重	480 k	425 k
〃　終了　〃	563 〃	551 〃
平均体重	522 〃	488 〃
1日平均採食量（乾物）	13,5 〃	11,2 〃
体重当採食量（乾物）	2,59 %	2,29 %

(3)　飼　料　費　　肥育試験百日間の採食量の飼料費は次の通りである。

第八表　飼　料　費　表

試験牛	区分	濃飼配合 1期	濃飼配合 2期	濃飼配合 3期	稲藁	甘詰サイレージ	家畜かぶ	青刈類	合計
1号牛	採食量	瓩 250,8	〃 227,4	〃 292,8	〃 472,2	〃 298,8	〃 316,9	〃 648,2	
	単価	28円44銭	27円74銭	27円82銭	2円10銭	6円70銭	1円30銭	1円30銭	
	金額	7132円75銭	6308円 7銭	8145円69銭	991円62銭	2001円96銭	411円97銭	842円66銭	25,834円72銭
2号牛	採食量	瓩 205,5	〃 188,0	〃 254,6	〃 384,4	〃 246,1	〃 256,7	〃 533,9	
	単価	28円44銭	27円74銭	27円82銭	2円10銭	6円70銭	1円30銭	1円30銭	
	金額	5844円42銭	5215円12銭	7082円97銭	807円24銭	1648円87銭	333円71銭	694円07銭	21,626円40銭

(4) 屠体成績及び販売価格

試験牛は5月22日芝浦屠場に出荷し枝肉取引を行つたが、その成績は第9表に示す通りである。

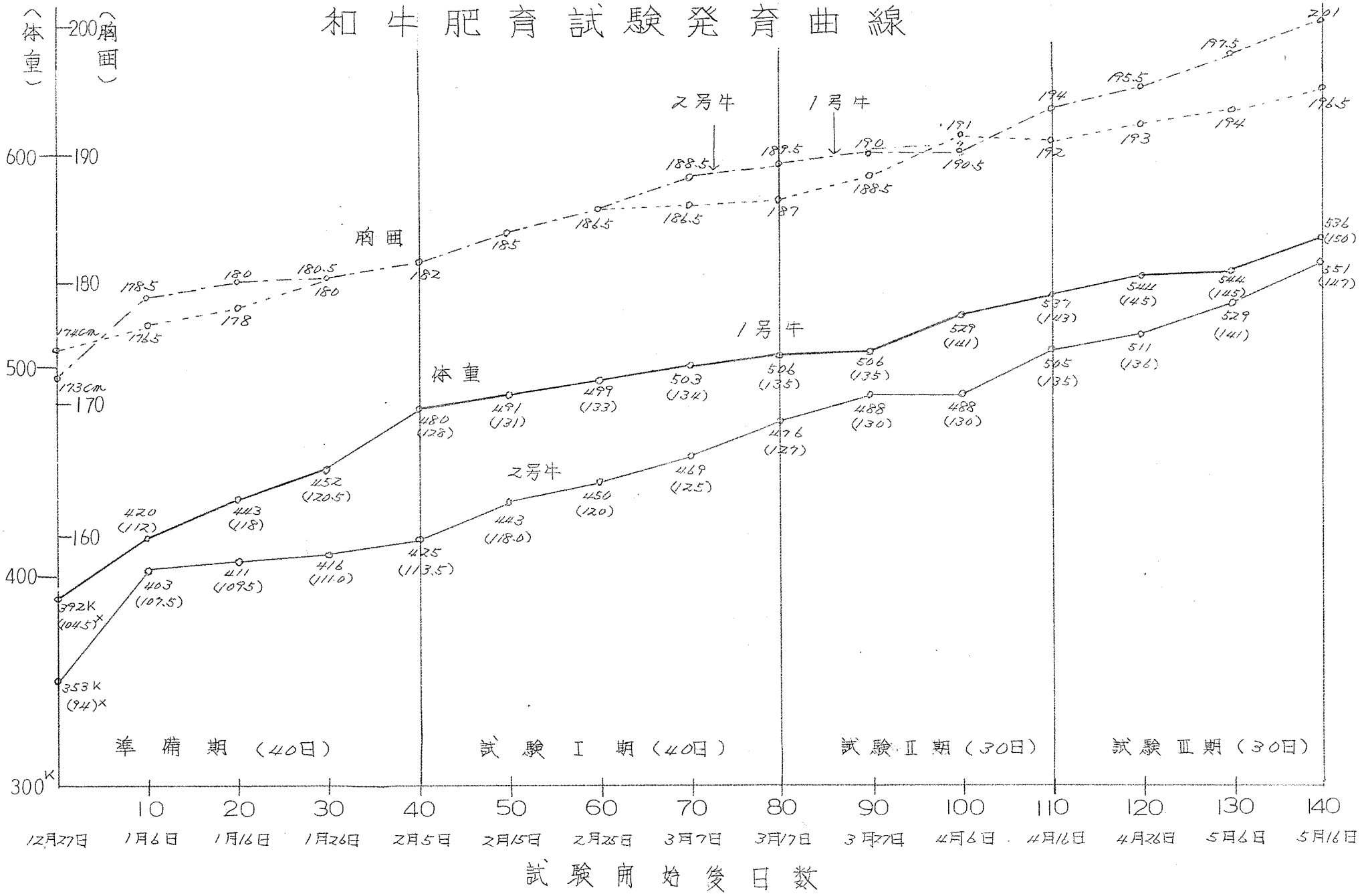
第九表 屠体成績及び販売価格

	1号牛（黒毛）	2号牛（褐毛）
試験終了体重	563,0kg	551,0kg
絶食体重	519,0 〃	506,0 〃
枝肉量	297,0 〃	298,0 〃
枝肉歩留（試験終了体重に対する）	52,8 %	54,1%
枝肉歩留（絶食体重に対する）	57,2 〃	58,9〃
枝肉単価	311,0円	311,0円
枝肉代	92,367円	92,678円
内臓皮代	11,014円	11,030円
計	103,381円	103,708円
屠殺料	815円	815円
販売手数料	2,067円	2,074円
計	2,882円	2,889円
差引	100,499円	100,819円

第十表　綜　合　成　績

	区分	1号牛（黒毛）	2号牛（褐毛）	摘要
成績	入場時体重	392kg	353kg	
	試験開始体重	480,0〃	425,0〃	
	試験終了体重	563,0〃	551,0〃	
	増体量	83,0〃	126,0〃	
	1日当増体量	0,83〃	1,26〃	
	飼料採食量（乾物）	1,346,6〃	1,116,2〃	
	体重1kg増体に要した乾物量	16,22〃	8,86〃	
	枝肉量	297,0〃	298,0〃	
	枝肉歩留	52,8% (57,2%)	54,1% (58,9%)	(1号 519k) (2号 506k) （　）は絶食体重に対する割合
収入	枝肉単価	311,0円	311,0円	
	枝肉代	92,367〃	92,367〃	
	内臓皮代	11,014〃	11,030〃	
	計	103,381〃	103,708〃	
支出	素牛代	55,000円	52,000円	
	予備肥育飼料代	6,507〃	5,925〃	
	本肥育飼料代	25,834〃	21,626〃	
	屠殺料	815円	815〃	
	販売手数料	2,067〃	2,074〃	
	輸送代	1,600〃	1,600〃	
	計	91,823〃	84,040〃	
差引収入		11,558円	19,668円	

別紙 オ1図


和牛肥育試験発育曲線
(体重)
(胸囲)
600
500
400
300K
190
180
170
160
胸囲
体重
1号牛
2号牛
2号牛
1号牛
174cm
173cm
392K
(104.5)×
353K
(94)×
420
(112)
443
(118)
452
(120.5)
480
(128)
491
(131)
499
(133)
503
(134)
506
(135)
506
(135)
529
(141)
537
(143)
544
(145)
544
(145)
529
(141)
536
(150)
351
(147)
403
(107.5)
411
(109.5)
416
(111.0)
425
(113.5)
443
(118.0)
450
(120)
469
(125)
476
(127)
488
(130)
488
(130)
505
(135)
511
(136)
178.5
180
180.5
182
185
186.5
186.5
188.5
189.5
190
190.5
191
192
193
194
195.5
197.5
201
178.5
178
180
187
188.5
194
196.5
準備期（40日）
試験Ⅰ期（40日）
試験Ⅱ期（30日）
試験Ⅲ期（30日）
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
110
120
130
140
12月27日
1月6日
1月16日
1月26日
2月5日
2月15日
2月25日
3月7日
3月17日
3月27日
4月6日
4月16日
4月26日
5月6日
5月16日
試験開始後日数

Ⅳ 考察及総括

以上の成績を綜合して考察すると、第十表及び次の各項に示すようであつた。

(1) 試験期間の一般健康状態は両牛共に概して良好であつたが、一号牛は当初より食慾は旺盛であつたが、稍々軟便の傾向があり、又第二期において軽度の臍部損傷のため、食慾及び増体にも影響を及ぼしたように見受けられた。二号牛においては当初より食慾は一号牛より稍々劣つていたが、一般健康状態は全期を通じて良好であつた。

(2) 予備肥育期間四十日間においては、一号牛（黒毛）において88,0kg、二号牛（褐毛）において72,0kgの増体があり、両牛共に極めて順調であつた。

(3) 本肥育期間（一〇〇日）においての増体量は、一号牛（黒毛）83,0kg、二号牛（褐毛）126kgで一日当増体量は一号牛（黒毛）においては0.83Kgであり稍々不良であつたが、二号牛（褐色）においては1.26kgであり極めて良好であつた。

(4) 飼料採食量は乾物において一号牛(黒毛)1,346,6kg、二号牛（褐毛）1,116,2kgであり、一日平均体重当採食量は一号牛二、五九%、二号牛二、二九%であり、一号牛が二号牛より食慾旺盛であつた。

(5) 増体1kgに要した飼料量（乾物）は一号牛（黒毛）16,22kg、二号牛（褐毛）8,83kgであり、二号牛においてはるかに優れた成績を示した。

(6) 試験期間に要した飼料費は一号牛（黒毛）においては予備期六、五〇七円、本肥育期二五、八三四円であり、二号牛（褐毛）においては予備期五、九二五円、本肥育期二一、六二六円であり、二号牛の方が廉価であつた。

(7) 枝肉量は一号（黒毛）297,0kg、二号牛（褐毛）298,0kgであり、歩留率は夫々五二、八%及び五四、一%であつて、二号牛（褐毛）において僅かに良好であつた。

(8) 肉質は当日の芝浦屠場の相場は上三〇七円、中二五三円、下二一九円であつたが、両牛共に近在物としては上物に属し、単価三一一円で取引された。然し関西最上物等に比して脂肪はしまりに乏しく、赤肉への交雑も少く筋繊維は稍々粗であつた。

尚一号牛（黒毛）と二号牛（褐毛）間において肉質に差異は認められなかつた。

(9) 収支計算は一号牛（黒毛）においては総収入一〇三、三八一円に対して総支出九一、八二三円差引収入一一、五五八円であり、二号牛（褐毛）においては総収入一〇三、七〇八円に対して総支出八四、〇四〇円差引収入一

九、六六八円であり、二号牛において優れた成績を示した。

以上を総括すると、本試験では茨城県における普通の和牛の中より比較的経歴、資質の一致していると思われる黒毛和牛、褐毛和牛各一頭を素牛として供試肥育したところ黒毛和牛（一号牛）の試験期間中の健康状態が多少不調ではあつたが、本試験の結果としては増体量及飼料効率は共に褐毛牛（二号牛）において優れた成績を示し肉質、枝肉量においては著差を認められなかつた。

会報

○監事会

四月九日午前十時より本会事務所において監事会を開催木村、矢野、堀、監事出席のもとに、本会並びに熊本県支部の昭和三十四年度事業成績及び決算、関係書類諸帳簿の整理状況、会務運営について定期監査を実施した。

○理事会

四月十五日午後一時より、左記のとおり理事会を開催、提出議案について審議し、いづれも原案どおり承認可決して散会した。

一、開催地　熊本県自治会館

二、出席者　佐々木会長
　　小屋迫副会長
　　高野、佐藤常務理事
　　池田、湯浅、深川、古田各理事

三、提出議案
　昭和三十五年度通常総会に附議する議案四件

四、協議事項

総代会の運営に関する件

○ 昭和三十五年度通常総会（総代会）

四月十六日午前十時より、熊本県自治会館において、長野、福岡、長崎、熊本の各県より総代二十九名の出席と、九大岡本教授、農林省九州農業試験場畜産部長（代理）、立川熊本県農林部長その他多数来賓臨席のもとに昭和三十五年度通常総会（総代会）を開催した。

定刻佐々木会長議長席につき、議事録署名人に松田徳太荒木丑雄の両氏を指名し、左記議案について審議、いづれも原案通り承認可決して散会した。

議決（承認）した案件は次のとおりである。

1、昭和三十四年度事業成績並びに決算
2、昭和三十四年度決算剰余金処分案
3、昭和三十五年度事業計画並びに予算案
4、監事の任期満了に伴う改選の件

尚、監事に選任された人々は次のとおりである。

監　事　　木　村　健　十
同　　堀　　照　雄
同　　矢　野　幸　雄

○ 昭和三十四年度事業成績

一　要　　旨

戦後順調な増加率を示した和牛は、近年における食肉需要の増加により、屠殺頭数の激増をもたらすとともに生産の停滞もこれにあづかつて、最近の統計が示すところでは、二三六万頭という昭和二七年の飼養水準までに後退を余儀なくされるに至つた。

従つて需給は完全なアンバランスの状態を現出し、子牛を始め和牛全般の市況は、年間を通じて、強調の一途を辿つた。

このような情勢により、生産は最近では幾分恢復の兆が見え始めてはいるものの、需給の均衡を恢復するためには、尚多少の期間を必要とする現状である。

これらの事情から、登録登記の実績も地域によつては前年度を下廻る結果を示した。

以下その概要は次の通りである。

二　事業の概要

1、登録事業
（表紙裏の各県別成績一覧表参照）
2、会員の入会
（表紙裏の各県別成績一覧表参照）
3、諸会議の開催
監事会（決算監査）　　三十四年四月九日

理事会　五月　六日
通常総会（総代会）　五月　七日
東日本ブロック会議　十月三十一日
西日本ブロック審査委員会議　三五年二月二十日

4、研究会、講習会の開催
全国研究会　三十四年八月四日
中央審査委員会（東日本関係）　十月二十九日
東日本ブロック審査研究会　十月三十日
中央審査委員会（西日本関係）　三十五年二月十九日

5、調査研究事業
イ　種雄牛発育曲線原図の完成
このほど原図を完成し、その実地適合を終ったので、近く印刷に附し、一般に頒布する予定である。
ロ　無角和種の調査実施
肉用体型並びに早熟性の問題を検討することにより褐毛和牛の改良に資することを目的として、中央審査委員による無角和種の調査を実施した。

6、支部の設置
下記の通り支部を新たに開設した。
記
群馬県支部　三四年四月一三日

7、普及宣伝
タイ国向け褐毛和牛の寄贈に協賛するとともに、東京で開催された第一回極東家畜改良会議に協賛し、併せて同会議に出席した各国代表に対し、英文パンフレットを配布して褐毛和牛の国外宣伝を実施した。

8、表　彰
下記の各種共進会に対し、それぞれ副賞を贈ってこれを表彰した。
記
東北連合畜産共進会
九州連合畜産共進会
秋田県畜産共進会
福島県畜産共進会
埼玉県畜産共進会
同　県褐毛和牛育成共進会
長崎県畜産綜合共進会
第一回関東連合肉牛共進会
群馬県肉牛共進会
群馬県褐毛和牛共進会
茨城県肥育牛共進会
熊本県各種共進会

9、刊行事業
イ　機関誌「あか牛」第四号、第五号を発刊して関係者並びに関係先へ配布した。
ロ　登録簿第四巻を刊行して、本登録一、〇四六頭、予備登録五、九六九頭を登載公表した。

○ 昭和三十四年度決算

収　　入

科目 款	科目 項	科目 目	決算額	予算額	比較増減	附記
			円	円	円	
1) 入会金			506,950	400,000	106,950	150円×2,481件
	1 入会金		506,950	400,000	106,950	100円×1,346〃
		1 入会金	506,950	400,000	106,950	200円× 1〃
2) 登録料			361,000	271,000	90,000	
	1 登録料		361,000	271,000	90,000	
		1 本登録料	312,400	245,000	67,400	600円×505頭 100円× 82〃 月令超過 2〃
		2 予備登録料	18,300	9,000	9,300	本会直轄分300円×60頭 月令超過 1〃
		3 補助登記料	10,300	5,000	5,300	100円×103頭
		4 犢登記料	20,000	12,000	8,000	80円×250〃
3) 証明料			5,800	4,500	1,300	
	1 証明料		5,800	4,500	1,300	
		1 本登録移動証明料	3,400	2,500	900	100円×34件
		2 〃再交付料	2,400	1,800	600	600円× 4〃
		3 〃書換料	0	200	△ 200	

4) 特別受入金			1,250,000	1,500,000	△ 250,000	
	1 特別受入金		1,250,000	1,500,000	△ 250,000	熊本県支部よりの受入金
		1 特別受入金	1,250,000	1,500,000	△ 250,000	
5) 補 助 金			0	0	0	
	1 補 助 金		0	0	0	
		1 補 助 金	0	0	0	
6) 雑 収 入			43,976	40,000	3,976	
	1 雑 収 入		43,976	40,000	3,976	刊行物売上代並びに預金利息
		1 雑 収 入	43,976	40,000	3,976	
7) 繰 越 金			697,850	697,850	0	
	1 繰 越 金		697,850	697.850	0	前年度よりの繰越金
		1 繰 越 金	697,850	697,850	0	
計			2,865,576	2,913,350	△ 47,774	

支　　出

科目 款	科目 項	科目 目	決算額	予算額	比較増減	附記
1) 事務費			1,160,494	1,255,000	△ 94,506	
	1 役員費		407,124	470,000	△ 62,876	
		1 報酬	160,000	170,000	△ 10,000	
		2 旅費	247,124	300,000	△ 52,876	
	2 職員費		640,401	670,000	△ 29,599	
		1 俸給	390,000	390,000	0	2名　12カ月分
		2 雑給	184,943	192,000	△ 7,057	賞与、諸手当、臨時傭人給
		3 旅費	65,458	88,000	△ 22,542	
	3 需要費		112,969	115,000	△ 2,031	
		1 備品費	6,700	10,000	△ 3,300	タイプライター修理及び机、椅子購入費
		2 消耗品費	15,332	20,000	△ 4,668	事務用品費
		3 通信運搬費	36,445	35,000	1,445	郵便、電話料
		4 印刷費	24,980	20,000	4,980	
		5 雑費	29,512	30,000	△ 488	
2) 会議費			151,456	250,000	△ 98,544	
	1 総会総代会費		116,354	200,000	△ 83,646	

		1 総会総代会費	116,354	200,000	△ 83,646	総代旅費及び会議費
	2 役員会費		35,102	50,000	△ 14,898	
		1 役員会費	35.102	50,000	△ 14,898	理事会及び監事会費
3) 事業費			798,491	1,030,000	△ 231,509	
	1 審査費		98,157	115,000	△ 16,843	
		1 審査費	56,157	70,000	△ 13,843	審査旅費
		2 中央審査委員手当	42,000	45,000	△ 3,000	
	2 ブロック会議及び審査委員会費		242,245	250,000	△ 7,755	東西ブロック会議費並びに中央審査委員会費
		1 ブロック会議及び審査委員会費	242,245	250,000	△ 7,755	
	3 支部設置費		15,000	15,000	0	新設支部への交付金
		1 支部設置費	15,000	15,000	0	
	4 調査研究費		47,125	170,000	△ 122,875	
		1 調査研究費	25,030	70,000	△ 44,970	
		2 登録技術研究費	22,095	100,000	△ 77,905	
	5 研究会講習会費		98,843	130,000	△ 31,157	
		1 研究会講習会費	98,843	130,000	△ 31,157	
	6 表彰費		44,800	50,000	△ 5,200	
		1 表彰費	44,800	50,000	△ 5,200	賞状、賞品代

	7 刊行費		173,500	200,000	△ 26,500	登録簿並びに機関誌刊行費
		1 刊行費	173,500	200,000	△ 26,500	
	8 普及宣伝費		78,821	100,000	△ 21,179	
		1 普及宣伝費	78,821	100,000	△ 21,179	宣伝費及び食糧費
4) 負担金			40,000	40,000	0	
	1 負担金		40,000	40,000	0	
		1 負担金	40,000	40,000	0	中央畜産会負担金
5) 厚生費			19,788	25,000	△ 5,212	
	1 厚生費		19,788	25,000	△ 5,212	健康保険、厚生年金（事業主負担分）
		1 厚生費	19,788	25,000	△ 5,212	
6) 積立金			60,000	60,000	0	
	1 積立金		60,000	60,000	0	
		1 職員退職給与積立金	60,000	60,000	0	
7) 雑費			29,866	40,000	△ 10,134	
	1 雑費		29,866	40,000	△ 10,134	県市民税、学会費その他
		1 雑費	29,866	40,000	△ 10,134	
8) 予備費			17,500	213,350	△ 195,850	
	1 予備費		17,500	213,350	△ 195,850	

1 予備費	17,500	213,350	△ 195,850		
	2,277,595	2,913,350	△ 635,755		
計					

昭和35年度へ繰越 587,981円

○昭和三十五年度事業計画

本会はここに創立第八周年を迎え、組織の上では五〇、〇〇〇名の会員を母体として全国一三県に支部を設置し、登録事業の振興を通じて褐毛和牛の改良促進に寄与しつつ今日に及んだ。

本年度はこのような組織並びに事業の拡大に対処し、本部、各県支部間の連絡機構を整備するとともに、大要左記の通りの事業を実施して、協会の一層の発展を期することとする。

1 会員組織の拡充

会員の新規加入数を年間三、四〇〇名と予定し、登録事業と関連させてその実現を期する。

2 登録事業

登録登記頭数は、年々堅実な伸展を示しているが、尚一部に不振の地域が見られるので、巡回指導その他の方法を講じてこれが打開を図ることとする。

3 東京事務所の設置

支部組織の拡大に対処し、会務の処理を円滑ならしめるとともに中央との連絡をより一層緊密にするため、東京事務所を設置する。

4 ブロック会議並びに研究会、講習会の開催

登録事業の推進に必要な事務並びに技術の両面の研修を目的として、ブロック会議並びに研究会、講習会を開催する。

5 審査標準並びに附点法の研究

褐毛和牛の肉用的価値を一層昂からしめるため、審査標準の改正のための研究を行なうとともに、選択淘汰を合理的に行なうための新らしい附点法を研究する。

6 刊行事業

機関誌「あか牛」を年二回刊行するとともに、種雄牛発育曲線を印刷して関係者に頒布する。

7 その他

前年度に準じ、表彰その他の事業を行なう。

○ 昭和三十三年度予算

収　　入

科目 款	科目 項	科目 目	予額算	前年度予算額	比較増減	附記
1) 入会金			450,000	400,000	50,000	
	1 入会金		450,000	400,000	50,000	150円×2,200 件
		1 入会金	450,000	400,000	50,000	100〃×1,200 〃
2) 登録料			324,000	271,000	53,000	
	1 登録料		324,000	271,000	53,000	
		1 本登録料	280,000	245,000	35,000	600円×450 頭 100〃×100 〃
		2 予備登録料	18,000	9,000	9,000	300〃× 60 〃
		3 補助登記料	10,000	5,000	5,000	100〃×100 〃
		4 積登記料	16,000	12,000	4,000	80〃×200 〃
3) 証明料			5,000	4,500	500	
	1 証明料		5,000	4,500	500	
		2 本登録移動証明料	3,000	2,500	500	100円× 30 件
		2 〃再交付料	1,800	1,800	0	600〃× 3 〃
		3 〃 書換料	200	200	0	200〃× 1 〃

4) 特別受入金			1,500,000	1,500,000	0	
	1 特別受入金		1,500,000	1,500,000	0	
		1 特別受入金	1,500,000	1,500,000	0	熊本県支部よりの受入金
5) 雑 収 入			40,000	40,000	0	
	1 雑 収 入		40,000	40,000	0	刊行物売上代並びに預金利息
		1 雑 収 入	40,000	40,000	0	
6) 繰 越 金			587,981	697,850	△ 109,869	
	1 繰 越 金		587,981	697,850	△ 109,869	
		1 繰 越 金	587,981	679,850	△ 109,869	前年度よりの繰越金
計			2,906,981	2,913,350	△ 6,369	

支　　出

科目 款	科目 項	科目 目	予算額	前年度予算額	比較増減	附記
1) 事務費			1,365,000	1,255,000	110,000	
	1 役員費		470,000	470,000	0	
		1 報酬	170,000	170,000	0	
		2 旅費	300,000	300,000	0	
	2 職員費		780,000	670,000	110,000	
		1 俸給	480,000	390,000	90,000	3名　12カ月分
		2 雑給	220,000	192,000	28,000	賞与、諸手当
		3 旅費	80,000	88,000	△ 8,000	
	3 需要費		115,000	115,000	0	
		1 備品費	10,000	10,000	0	
		2 消耗品費	20,000	20,000	0	事務用品費
		3 通信運搬費	35,000	35,000	0	郵便、電話料
		4 印刷費	20,000	20,000	0	
		5 雑費	30,000	30,000	0	
2) 会議費			200,000	250,000	△ 50,000	
	1 総会総代会費		150,000	200,000	△ 50,000	

3) 事業費		1 総会総代会費	150,000	200,000	△ 50,000	総代旅費及び会議費
	2 役員会費		50,000	50,000	0	
		1 役員会費	50,000	50,000	0	理事会費及び監事会費
			1,030,000	1,030,000	0	
	1 審査費		115,000	115,000	0	
		1 審査費	70,000	70,000	0	審査旅費
		2 中央審査委員手当	45,000	45,000	0	
	2 ブロック会議及び審査委員会費		230,000	250,000	△ 20,000	東西ブロック会議並びに
		1 ブロック会議及び審査委員会費	230,000	250,000	△ 20,000	中央審査委員会費
	3 東京事務所費		100,000	0	100,000	
		1 東京事務所費	100,000	0	100,000	
	4 支部設置費		15,000	15,000	0	
		1 支部設置費	15,000	15,000	0	1県分
	5 調査研究費		170,000	170,000	0	
		1 調査研究費	70,000	70,000	0	諸調査費
		2 登録技術研究費	100,000	100,000	0	審査標準並びに附点法研究費
	6 研究会講習会費		130,000	130,000	0	
		1 研究会講習会費	130,000	130,000	0	
	7 表彰費		50,000	50,000	0	
		1 表彰費	50,000	50,000	0	賞状、賞品代

	8 刊行費		120,000	200,000	△ 80,000	機関誌、発育曲線、刊行費
		1 刊行費	120,000	200,000	△ 80,000	
	9 普及宣伝費		100,000	100,000	0	宣伝費及び食糧費
		1 普及宣伝費	100,000	100,000	0	
4) 負担金			40,000	40,000	0	
	1 負担金		40,000	40,000	0	
		1 負担金	40,000	40,000	0	中央畜産会負担金
5) 厚生費			25,000	25,000	0	
	1 厚生費		25,000	25,000	0	健康保険、厚生年金（事業主負担分）
		1 厚生費	25,000	25,000	0	
6) 積立金			60,000	60,000	0	
	1 積立金		60,000	60,000	0	
		1 職員退職給与積立金	60,000	60,000	0	
7) 雑費			30,000	40,000	△ 10,000	
	1 雑費		30,000	40,000	△ 10,000	県、市民税、学会費その他諸雑費
		1 雑費	30,000	40,000	△ 10,000	
8) 予備費			156,981	213,350	△ 56,369	
	1 予備費		156,981	213,350	△ 56,369	
		1 予備費	156,981	213,350	△ 56,369	
計			2,906,981	2,913,350	△ 6,369	

○本年度東日本ブロック研究会

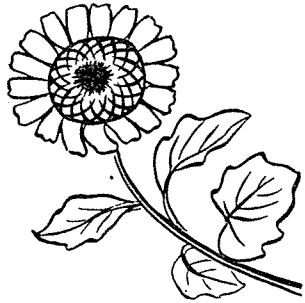
八月下旬　長野県で開催

本年度の東日本ブロック研究会は、長野県の当番で、左記のとおり開催の予定である。

記

一、場所　長野県駒ヶ根市赤穂農業協同組合

二、期日　八月二十二、二十三日



ニュース

○　昭和三十五年度畜産関係政府予算の概要

昭和三十五年度政府予算のうち、農林関係予算の総額は一、三一九億円となつている。

これを前年度の一、〇六三億円に比べると約二五六億円の増加となつているが、その中で畜産局所管の予算は総額四〇億四五〇〇万円で、農林関係予算総額の三、一％であり、前年度の三七億五六九四万円に比べると約二億八八〇〇万円の増加となつてはいるものの、一般に予想されたほどの伸びは示していない。

しかしながら、内容的には、肉畜増産対策や家畜及び畜産物の流通改善対策に関する新規事業が盛り込まれており新らしい畜産政策の萌芽が見られるようである。

以下、和牛関係のものを抜萃列記すると次の通りである。

(一)　肉畜増産対策　　四二、五三六千円

(1)肉牛の経済的飼育施設の設置（阿蘇）

（新規増）二〇、〇〇〇千円

褐毛和牛のもつ放牧適性と早熟肥盈性を高度に利用し、熊本県阿蘇地方に約二〇〇町歩の放牧地を確保し、草地改良と飼料作物の栽培を実施して、生産費低減化による新らしい肉牛飼養経営技術の指導機関とし、高原畜産の振興と食肉資源の培養を図る。

(2)肉用素畜の導入資金に対する利子補助

（新規増）一〇、〇〇〇千円

農業協同組合が系統資金によって、肉用素牛及び肉用素豚の購入資金を融資して肉用素畜の導入事業を行う場合に購入資金の二、五％に相当する利子補給補助金を交付する。

（和牛一五、〇〇〇頭）

(3)肉牛飼料給与改善モデル地区の設置

（新規増）四、六七四千円

肉牛の肥育について若令長期肥育は今後の肉牛生産の新しい方向としてその発展が期待されるので、肥育に最も重要な蛋白質飼料の給源を飼料作物に需め、イモ類、麦類を有効に利用することによって生産費を低減し、肉牛生産の新らしい形態を確立するため肉牛の給与改善に関するモデル施設八カ所を設置することとし、これに必要な経費について補助金を交付する。一カ所の飼養規模は一二〇頭、飼養農家数三〇戸程度とする。

(4)肉用種牛（アバーデンアンガス種　雄二、雌二〇）輸入

（新規増）二、一五五千円

濠州よりアバーデンアンガス種の雄二頭、雌二〇頭を輸入して、農林省岩手種畜牧場に繋養する。

(二)種雄畜の設置

(1)役肉用種雄牛購入費補助金　六、八二九千円

人工授精施設に繋養用として八〇頭、褐牛使役地帯における生産慣行を助長し繁殖可能牛の空胎解消を目的とする褐毛和種種雄牛二五頭、計一〇五頭の購入費に対しその⅓を補助する。

(三)家畜導入

(1)寒冷地等特殊地帯における営農の改善のための貸付家畜購入費

（役肉用雌牛二、〇〇〇頭　四六、〇七五千円）

北海道寒冷地畑作営農改善資金融通臨時措置法の適用を受ける畑作地帯の農家及び積寒法の適用を受ける内地の畑作地帯、山村地帯の農家その他特殊低位生産地帯における農家に貸付する。

(2)有畜農家創設資金利子補給補助金

（和牛三〇、〇〇〇頭　八四〇、〇〇〇千円）

右金額の七〇％に相当する額を農業協同組合が融

資するものとし、その融資額について年2分5厘の利子補給補助を行う。

(3)中小農家向家畜導入用家畜購入費補助金

（和牛四、二七五頭　一九、六九八千円）

農業協同組合が肥育素牛、肉用素豚、めん羊の購入を行い、その組合員であつて有畜農家創設事業を利用し難い中小農家、開拓農家等に対し預託し、肥育せしめて、当該家畜又はその生産物の共同販売事業を行う場合にその購入費の2割を補助する。

(四)家畜及び畜産物の流通改善

(1)産地枝肉共同出荷施設　（六カ所）

（新規増）八、七三〇千円

生産者団体の行う素畜の購入、肉畜の販売体制を整備強化し、共同事業を推進するため、枝肉の急速冷却施設及び枝肉輸送用冷蔵トラックを肉畜の主要生産地にモデル施設として設置する。

設置計画は肉畜の年間県外出荷頭数一〇、〇〇〇頭（肉畜の換算は牛1に対し豚1/4とする）につき一カ所の割合で五カ年で三〇カ所とし、さしあたり三十五年度は六カ所とする。

補助金は一カ所につき、急速冷凍施設一五坪四、三六五千円、枝肉輸送用トラック一台二、九一〇千円、計七、二七五千円の1/6の一、四五五千円とする。

(2)家畜市場再編整備補助

（新規増）五、九九八千円

家畜市場の数又は配置の現状は、家畜の生産及び流通の実態に照して必ずしも適正でなく、一般に生産地市場は小規模であり、集散地市場は取引方法、代金決裁方法等が公正を欠き市場の機能を充分に果していないので、市場の適正な配置を図り、取引量の確保、施設の改善を促進して、生産地から消費地に至る一連の家畜の取引が公正円滑に行われるよう計画的に家畜市場の再編整備を推進すると共に整備に要する経費の一部を補助する。

三十五年度においては八カ所とする。

(3)中小都市枝肉冷蔵施設補助

（新規増）一七、九五五千円

大消費地に対する枝肉出荷の促進と中小都市自体の食肉取引の合理化を図るため、肉畜の集散地で且つ枝肉取引の行われる中小都市食肉市場に冷蔵庫の設置を助成する。

設置計画は5カ年で50カ所とし35年度はさしあたり9カ所とする。

○　貿易自由化をめぐる動き

貿易及び為替の自由化については、本年一月十二日貿易為替自由化促進閣僚会議の決定に基づいて〝年次目標を定めつつ、内外諸対策の整備と相まつて急速に推進するものとする〟との基本線を打ち出したが、農林省では、このほど、畜産関係貿易自由化計画の農林省原案を次のとおり内定した。

酪農製品　昭和三十八年三月以前には自由化しない。
肉（加工品を含む）　右　同
牛、馬、豚　右　同
配合飼料　右　同
家畜生体（牛、馬、豚を除く）三十六年四月から自由化する。
卵　三十八年三月までに自由化する。
飼料　配合飼料を除いて即時自由化する。
皮　即時自由化する。

尚、六月二十四日に発表された〝貿易・為替自由化計画の内容〟によると、全体としては当初予想された線よりもかなり後退し、その目標を〝三年後におおむね八〇％、さらに石油、石炭を自由化しておおむね九〇％〟と改められている。また畜産物については、次のような方針が明らかにされた。

〝畜産は今後育成を要する重要部門であるから、酪農製品、食肉およびその加工品については、自由化は困難であるが、精製ラードなどについては近い将来に自由化する。家畜、畜産物の一部は早期に自由化する。〟

○　農林省熊本種畜牧場阿蘇支場（肉牛経済飼育施設）の陣容と事業内容

本年度から明年度に亘る二カ年計画事業として新設されることになつた農林省熊本種畜牧場阿蘇支場の事業内容と陣容は、次のとおりになる模様である。

(一)　陣　容

支　場　長　一名
業務課長　一名（係長四、係員二、労務職員一〇）
庶務課長一名（係長二、係員二、労務職員二）
計　二五名

(二)　事業内容

1、草地改良の促進及び技術指導
2、草地利用による肥育飼養方式の確立並びに展示
3、和牛肥育技術の指導及び展示
4、食肉資源地域の開発
5、種牛の生産貸付払下

○ 最近の“あか牛”市況

市場名		開催月日	出場頭数 めす	出場頭数 おす	出場頭数 計	最高価格 めす	最高価格 おす	最低価格 めす	最低価格 おす	平均価格 めす	平均価格 おす	平均価格 総平均
熊本県	玉名	4月 4日	87	37	124	56,600	51,000	23,000	22,500	38,649	32,389	36,781
	江田	5	45	26	71	52,000	43,500	31,000	20,000	39,090	31,846	36,445
	南関	6	123	79	202	70,500	52,000	30,100	11,200	39,591	31,344	36,366
	波野	7	62	82	144	61,500	43,500	27,000	21,100	42,554	32,589	36,112
	内牧	8	36	58	94	57,000	41,000	36,700	23,000	43,708	33,127	37,057
	宮地	9	90	82	172	70,000	43,800	22,600	21,100	43,257	34,262	38,342
	大津	19	45	42	87	51,500	46,800	15,300	23,000	37,467	31,919	34,788
	山西	20	66	44	110	67,000	48,600	27,000	30,000	43,362	35,380	39,886
	多良木	25.26	196	206	402	100,000	65,500	28,100	16,000	53,170	41,415	45,760
	免田	27	127	152	279	91,000	125,000	26,000	18,000	48,135	39,305	43,669
	人吉	28.29.30	394	426	820	131,500	80,000	25,000	23,100	49,846	38,891	44,163
	桜井	5月 16	71	49	120	70,100	46,000	28,800	23,500	48,318	32,651	41,921
	来民	17.18	104	128	232	82,500	48,000	30,000	23,700	51,480	33,555	41,590
	山鹿	19.20	253	180	433	104,100	63,600	31,000	26,500	50,357	37,914	45,185
	河原	22	64	35	99	57,000	39,700	23,100	26,000	37,510	33,525	36,103
	白水	23	75	114	189	72,000	50,000	27,000	16,600	44,572	34,744	38,156
	高森	24.25	158	215	373	78,500	50,000	30,000	20,000	43,863	35,734	38,927
	砥用	30	100	86	186	86,000	53,000	27,000	20,000	44,314	35,267	40,131
	中山	31	102	73	175	100,000	52,000	24,500	25,000	44,318	36,740	41,157
	甲佐	6月 1										
	水源	5	47	43	90	68,500	48,600	25,400	24,300	42,388	35,900	38,895
	隈府	6.7.8	236	204	440	79,300	70,500	28,000	20,000	45,084	39,193	42,331

登録彙報

（登録簿第４巻登載以降の分）

本　登　録　（雄）

登録番号	名号	生年月日	血統 父	血統 母	繁殖地	所有者	得点
本 480	豊隆	昭和 32. 6. 5	豊栄（本 352）	はま（本 977）	熊本県球磨郡相良村	熊本県阿蘇郡産山村　産山村農業協同組合	77.38
〃 481	旭	32. 5.15	光浦（本 244）	やえない（予熊11910）	〃　〃	〃　〃　小国町　小国町農業協同組合	77.12
〃 482	雄栄	32. 8. 2	久浜（本 149）	さく（予熊10361）	〃　上益城郡矢部町	大分県日田郡上津江村　井上藤雄	77.93
〃 483	白浜	32. 5. 8	久浜（本 149）	さくら（予熊14290）	〃　〃　〃	熊本県上益城郡矢部町　小山広記	77.12
〃 484	久孝	32. 3. 5	久浜（本 149）	すぎ（予熊4187）	〃　〃　〃	〃　〃　〃　坂本政雄	77.20
〃 485	光城	32. 6.26	城久（本 237）	ふじつな（本 815）	〃　下益城郡砥用町	〃　下益城郡砥用町　井上鉄雄	77.08
〃 486	久月	31.12.28	久川（本 106）	第二さかえ（予熊12867）	〃　阿蘇郡長陽村	福島県東白川郡棚倉町　永山安友	77.12
〃 487	岩山	31.10. 2	霧島（予熊 871）	はつみ（予熊2090）	〃　球磨郡五木村	〃　相馬郡小高町　長谷川泰蔵	77.02
〃 488	勝栄	32. 3.10	旭（本 196）	てる（予熊14324）	〃　〃　錦村	熊本県鹿本郡菊鹿村　田中伍一	77.51
〃 489	重波	32. 6. 1	重丸（本 190）	まる（予熊4519）	〃　阿蘇郡高森町	〃　〃　〃　高田英資	77.30
〃 490	栄	32. 6.15	倉山（本 225）	やよい（予熊12423）	〃　鹿本郡菊鹿村	〃　〃　植木町　泉俊雄	77.03
〃 491	金山	32. 6.20	栄昇（本 314）	すえはる（予熊6907）	〃　阿蘇郡南小国村	〃　玉名郡菊水町　松永強	77.18
〃 492	玉三	32. 6.20	豊波（本 299）	たまふく（予熊9003）	〃　〃　白水村	〃　〃　〃　村上義盛	77.00
〃 493	初光	31. 5. 9	鈴金（本 245）	てる（予熊9274）	〃　人吉市北願成寺町	群馬県藤岡市岡之郷町　關根英揚	77.06

本	494	平　隆	昭和 32.5.14	隆　盛 (本 313)	えいこう (本 343)	熊本県山鹿市平山	熊本県菊池郡七城村	坂井末熊	77.10
〃	495	岩　波	32.3.1	蘇　星 (本 281)	さかえ (予熊4420)	〃　菊池市岩下	〃　〃　旭志村	中村　正	77.00
〃	496	重　水	32.5.18	重　村 (本 273)	たまいち (本 483)	〃　阿蘇郡白水村	〃　阿蘇郡山西村	藤田信吾	77.42
〃	497	福　丸	32.9.22	鶴　富 (本 254)	つぎ (予熊13348)	〃　上益城郡清和村	〃　〃　蘇陽町	穴見　守	77.49
〃	498	重　時	32.9.6	重　丸 (本 190)	まるはな (予熊3999)	〃　阿蘇郡高森町	〃　〃　高森町	南阿蘇畜産農業協同組合長	77.33
〃	499	秋　波	32.6.5	米　山 (本褐 61)	あきなみ (本 764)	熊本県	〃　上益城郡清和村	藤本光行	77.16
〃	500	波　宝	33.1.10	蘇　波 (本 393)	みたま一 (本 719)	〃　阿蘇郡白水町	〃　阿蘇郡一の宮町	森本健助	77.08
〃	501	第二豊栄	32.6.15	豊　栄 (本 352)	はるしげ (本 976)	〃　球磨郡相良村	〃　上益城郡矢部町	矢部家畜保健所	77.90
〃	502	林　月	32.9.28	豊　栄 (本 352)	ふたみ (予熊17072)	〃　〃　上村	〃　芦北郡芦北町	芦北郡畜産農業協同組合連合会	77.19
〃	503	錦　泉	32.8.23	高　花 (本 308)	さくら (予熊5324)	〃　〃　球磨村	〃　球磨郡水上村	杉野久作	77.01
〃	504	春　光	32.5.20	花　峰 (予熊 876)	よしまる (予熊8678)	〃　阿蘇郡波野村	〃　〃　錦村	平野広喜	78.74
〃	505	東	32.10.2	優　盛 (本 304)	とみえい (予熊2504)	〃　人吉市上漆田町	〃　人吉市下原田町	菅原久寸男	77.46
〃	506	光　幸	33.4.26	第二光浦 (本 391)	ひめ (本 1304)	〃　球磨郡相良村	〃　球磨郡相良村	深水繁	77.26
〃	507	宝　山	33.4.11	第二光浦 (本 391)	はるひめ (本 290)	〃　〃　〃	〃　〃　五木村	田山親	77.04
〃	508	浦　上	32.1.4	光　浦 (本 244)	さかえ (予熊10619)	〃　〃　〃	新潟県南蒲原郡下田村	新潟県種畜場	77.32
〃	509	宝	32.5.20	豊　栄 (本 352)	みつひめ (本 130)	〃　〃　岡原村	〃　〃　〃	〃	77.12
〃	510	朝　光	32.8.20	豊　栄 (本 352)	たから (予熊5234)	〃　〃　上村	〃　〃　〃	〃	77.21
〃	511	弥　栄	32.1.3	満　山 (本 267)	ふじ (本 974)	〃　〃　岡原村	群馬県伊勢崎市東上宮	下山亀太	77.02
〃	512	福　光	32.6.5	繁　進 (本 303)	はつよ (予熊5251)	〃　〃　錦村	〃　館林市岡野	岡村宇三郎	77.38

本	513	昭錦	昭和 32. 9. 1	大栄 (本褐(全和) 105)	えいこうー (本褐(全和) 209)	群馬県佐波郡東村	群馬県群馬郡群南村	堤秀夫	77.03
〃	514	第二大光	30. 6.15	七福 (本 194)	しんにちー (本 350)	熊本県球磨郡水上村	埼玉県大里郡寄居町	大沢良作	77.12
〃	515	美勇	31. 6.10	旭 (本 196)	なかや (予熊18716)	〃 〃 錦村	〃 秩父郡吉田町	岡田満	77.29
〃	516	吉野	32. 3.10	雲威 (本 307)	みつえ (予熊13049)	〃 〃 相良村	〃 鴻巣市八幡田	五十嵐島吉	77.17
〃	517	第一昭岳	32. 7. 1	昭岳 (本 266)	すえひろ (予熊12020)	〃 人吉市上戸越町	〃 秩父郡小鹿野町	林常次郎	77.07
〃	518	幸山	32. 8.10	幸盛 (本 340)	まつえ (本 456)	〃 山鹿市上吉田	熊本県鹿本郡鹿本町	服部熊彦	77.25
〃	519	竹	33. 2.26	豊栄 (本 352)	まつ (予熊17068)	〃 球磨郡上村	山形県山形市旅籠町	山形県	78.07
〃	520	光朝	32. 6. 1	光浦 (本 244)	あさかぜ (予熊14431)	〃 〃 相良村	秋田県山本郡藤里村	藤里村長	77.21
〃	521	光重	32. 3. 1	光浦 (本 244)	みつえい (本 871)	〃 〃 〃	熊本県菊池市西迫間	境敬臣	77.20
〃	522	福勇	32. 9. 1	初丸 (本 333)	第四さかえ (予熊11249)	〃 上益城郡矢部町	〃 上益城郡矢部町	本田善次	77.00
〃	523	珠栄	28. 4.10	珠園 (本褐 66)	第二とくえい (予熊1560)	〃 阿蘇郡波野村	山梨県北巨摩郡長坂町	山梨県日野春種畜場	77.08
〃	524	福茂	29.12. 4	桜緑 (本 109)	まき (予熊2795)	〃 球磨郡錦村	〃 〃 〃	〃	77.05
〃	525	高波	32. 3.30	高光 (本 302)	はるはな (予熊7676)	〃 〃 水上村	〃 〃 〃	〃	77.15
〃	526	重宣	33. 3.25	重村 (本 273)	はなまる (本 846)	〃 阿蘇郡白水村	熊本県阿蘇郡高森町	野尻波男	77.55
〃	527	春重	32.12.12	重丸 (本 190)	たまみね (本褐 116)	〃 〃 高森町	〃 〃 蘇陽町	本田末熊	77.15
〃	528	重成	33. 2.20	重丸 (本 190)	とくせい (予熊3519)	〃 〃 〃	〃 〃 高森町	櫓木野幸春	77.42
〃	529	隆栄	31.10.20	龍栄 (本 256)	とよひめ (本 804)	〃 菊池郡七城村	福島県田村郡田村町	矢吹光雄	77.14
〃	530	六月	31. 6. 1	蘇栄 (本 281)	たみ (予熊4219)	〃 〃 菊池町	〃 〃 船引町	箭内寛	77.19
〃	531	福栄	31.11. 9	波三 (本 317)	はつたから (予福 14)	福島県田村郡三春町	〃 〃 中田村	古川顕範	77.09

本	532	重八	昭和1 33. 1. 2	重村 (本 273)	たから (予熊7942)	熊本県阿蘇郡白水村	熊本県阿蘇郡南小国村	南小国村長 河津経人	77.31
〃	533	光	33. 3.15	隆錦 (本 425)	ひさもり (本 378)	大分県直入郡荻町	〃 〃 一の宮町	渡辺司馬人	77.30
〃	534	丸雄	33. 4.30	雄栄 (本 358)	はるまる (予熊10305)	熊本県阿蘇郡波野村	〃 〃 阿蘇町	黒川種畜場	77.58
〃	535	鶴花	33. 4.25	晴山 (本 359)	みまる (本褐 124)	〃 〃 高森町	〃 〃 〃	岩永光雄	77.04
〃	536	牧繁	31. 6.20	繁光 (本 152)	ひめじ (本 553)	長野県北佐久郡立科村	長野県北佐久郡北御牧村	岩下慶一	78.23

本登録（雌）

本	1901	とよたけ	昭和1 31. 6.19	豊玉 (予熊 883)	ふくえい (本 490)	熊本県阿蘇郡久木野村	熊本県阿蘇郡久木野村	岡勝熊	77.26
〃	1902	なみむら	32. 5. 1	波弘 (本 298)	第三さかえ (本 259)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	今村友康	77.33
〃	1903	ふくゆう	32. 2. 4	久優 (予熊 901)	ふくとみ (予熊10069)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	今村清量	77.22
〃	1904	たけいずみ	32. 5. 3	波弘 (本 298)	うめいずみ (予熊11400)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	坂田一	77.36
〃	1905	第十さかえ	32. 4. 1	波弘 (本 298)	第三いみる (本褐 6)	〃 〃 白水村	〃 〃 〃	荒牧勝	77.39
〃	1906	第一そゝがわ	32. 9. 4	重丸 (本 190)	そゝがわ (本 533)	〃 〃 高森町	〃 〃 高森町	後藤惟誠	77.36
〃	1907	なみひさ	32. 2. 5	波弘 (本 298)	こたに (予熊3521)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	岩下直久	77.01
〃	1908	まるざくら	32. 5.20	重丸 (本 190)	さくらみつ (予熊2896)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	住吉泉	77.71
〃	1909	しげつる	32. 6. 5	重丸 (本 190)	ふづる (本 534)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	松岡勝吉	77.13
〃	1910	まるひさ	31.12. 2	久川 (本 106)	あきまる (予熊6306)	〃 〃 久木野	〃 菊池郡大津町	山本勝美	77.06
〃	1911	きくえい	32. 5.10	金成 (本 321)	あきはな (予熊15349)	〃 〃 山西村	〃 阿蘇郡山西村	草野義信	77.25
〃	1912	まるみ	32. 5.20	高花 (本 274)	まつ (予熊10175)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	坂本政喜	77.05

本	1913	ふく	昭和 31. 1.20	重丸 (本 190)	ふゆる (予熊3501)	熊本県阿蘇郡白水村	熊本県阿蘇郡山西村	松下幸介	77.03
〃	1914	むめはな	32. 2.10	勇山 (本 306)	はなこ (予熊6543)	〃 球磨郡五木村	宮崎県都城市川東町	島津山林株式会社	77.36
〃	1915	なつめ壱	31. 9.17	蘇岳 (本褐(全和)75)	ふじ (本 642)	長野県更級郡篠ノ井町	長野県埴科郡屋代町	宮尾和男	77.83
〃	1916	はなぎく	31. 4. 5	波丸 (本褐 65)	まるぎく (予熊2552)	熊本県阿蘇郡阿蘇町	長野県上伊那郡飯島町	小林雅雄	77.31
〃	1917	いわい	31. 4. 7	万福 (本 145)	たま (本 745)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	高坂朝吉	77.59
〃	1918	すみ	31. 4.18	波玉 (本 130)	みちよ (予熊2743)	〃 〃 波野村	〃 〃 〃	熊谷宗一	77.32
〃	1919	はな	31. 1. 7	祖功 (本 277)	ふじ (予熊11063)	〃 〃 阿蘇町	〃 〃 〃	山田喜義	77.72
〃	1920	第二ふくえ	31. 2.24	菊川 (予栃 2)	ふくえ (本褐(全和)169)	栃木県河内郡南河内村	栃木県宇都宮市川俣町	斉藤信一郎	77.06
〃	1921	はる	31. 5.20	倉山 (本 225)	まるこ (予熊12414)	熊本県鹿本郡菊鹿村	〃 芳賀郡芳賀町	吉永功	77.23
〃	1922	とよふく	32. 1.20	豊波 (本 299)	のこる (予熊2455)	〃 阿蘇郡白水村	〃 下都賀郡石橋町	武子勝平	77.46
〃	1923	みつたま	32. 4.26	光源 (本 229)	みつはな (予熊7824)	〃 〃 高森町	〃 〃 大平村	三柴清治	77.60
〃	1924	ふくひめ	32. 1. 1	光浦 (本 244)	第四さかえ (予熊9241)	〃 球磨郡相良村	〃 〃 〃	臼井延雄	77.07
〃	1925	第二しげこ	31. 8.23	福川 (本 115)	しげこ (予熊3252)	〃 上益城郡矢部町	熊本県玉名郡南関町	浦塚市次	77.15
〃	1926	なかなみ	31. 9.10	豊波 (本 299)	なかまつ (予熊12782)	〃 阿蘇郡高森町	〃 〃 〃	村上長松	77.03
〃	1927	みえこ	32. 4. 3	光栄 (本 246)	いさむ (予熊9.361)	〃 玉名郡南関町	〃 〃 〃	武田博	77.02
〃	1928	みどり	32. 5.20	光栄 (本 246)	あきこ (予熊10689)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	伊藤実	77.05
〃	1929	きわ子	32. 8.10	桃月 (本 121)	みゆき (本 1399)	長崎県南高来郡西有家町	長崎県南高来郡西有家町	池田昇	77.03
〃	1930	はつえい	32.10. 3	松富 (本 355)	ゆき (本 1100)	熊本県球磨郡山江村	〃 〃 北有馬村	近藤卯太郎	77.05
〃	1931	かねこ	32. 9.10	大和 (本 279)	かつの (本 1040)	長崎県南高来郡有家町	〃 〃 有家町	中村繁好	77.43

本	1932	はるかぜ	昭和 32. 4.15	勇山 (本 306)	はつね (予熊 14396)	熊本県球磨郡多良木町	熊本県球磨郡錦村	内田政篤	77.71
〃	1933	べにひめ	32. 6.30	第二紅葉 (本 154)	はるひめ (予熊9974)	〃 上益城郡益城町	〃 上益城郡御船町	永木親治	77.15
〃	1934	いなとし	31.10.16	朝栄 (予長 116)	いな (予長 85)	長野県駒ケ根市中沢	長野県駒ケ根市赤穂	小原博行	77.09
〃	1935	いなひめ一	31.11.10	朝栄 (予長 116)	いな一 (予長 341)	〃 〃 〃	〃 〃 中沢	竹村久千代	77.12
〃	1936	さかえ	31. 2.14	藤園 (本 226)	ふくみ (予熊2762)	熊本県阿蘇郡一の宮町	〃 上伊那郡飯島町	井口由三	78.63
〃	1937	きく一	32. 1. 8	幸風 (本 324)	きく (本 835)	長野県下伊那郡松川町	〃 〃 〃	田沢正夫	77.50
〃	1938	さくらふぶき	31. 4.20	高二 (本 262)	さかえ (予長 29)	〃 埴科郡坂城町	〃 埴科郡坂城町	深井吉三郎	77.13
〃	1939	あきみつ	31. 7. 6	波丸 (本褐 65)	あき (予熊4022)	熊本県阿蘇郡阿蘇町	〃 上伊那郡中川村	小松義美	77.23
〃	1940	つきまる	31. 7.16	吉丸 (本褐全和85)	つき (予茨 122)	茨城県結城市江川大町	茨城県笠間市福原町	浜野 万右衛門	77.07
〃	1941	まるみ	31.12. 1	波丸 (本褐 65)	さかさかえ (予熊1255)	熊本県阿蘇郡阿蘇町	熊本県阿蘇郡阿蘇町	川端幸男	77.10
〃	1942	はるみ	31.12.20	丸一 (予熊 888)	しげみ (予熊4374)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	大木 譲	77.15
〃	1943	第二きくまる	32. 1.30	錦 (本 192)	きく (予熊8765)	〃 〃 長陽村	〃 〃 〃	橋本 囲	77.07
〃	1944	まるみ	31. 7.25	錦 (本 192)	みつとみ (予熊 11075)	〃 〃 阿蘇町	〃 〃 〃	橋本親次	77.14
〃	1945	ともいずみ	31.11. 5	錦 (本 192)	ともさかえ (予熊 875)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	松野重義	77.25
〃	1946	つばき	32. 3. 4	錦 (本 192)	なかみず (予熊3379)	〃 〃 波野村	〃 〃 一の宮町	山部和夫	77.06
〃	1947	はなさかえ	32. 5.26	浜二 (本 310)	はな子 (予大 7)	大分県竹田市管生	大分県竹田市管生	今川五三	77.26
〃	1948	しげる	32. 1.13	栄光 (本 884)	しげやま (予熊2736)	熊本県阿蘇郡波野村	熊本県阿蘇郡波野村	岩下松男	77.34
〃	1949	うめ二	32. 8.10	錦 (本 192)	うめ (本 790)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	高日光時	77.14
〃	1950	よしはな	31. 4.25	高波 (本 160)	よしまる (予熊8678)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	井 万吉	77.35

本	1951	はるたま	昭和 32. 9.21	久丸 (本 322)	こたま (予熊1409)	熊本県阿蘇郡波野村	熊本県阿蘇郡波野村	釣井美津志	77.05
〃	1952	そうせい	32. 5.20	栄光 (予熊 884)	ゆうえい (本 615)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	釣井津義磨	77.04
〃	1953	まるとみ	32. 4.27	春富 (予熊 867)	まる (本 929)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	古沢休	77.08
〃	1954	まるえい	32. 3.31	花峰 (予熊 876)	はな (予熊8700)	〃 〃 産山村	〃 〃 産山村	足達久徳	77.00
〃	1955	あやめ	32. 4. 8	高波 (本 160)	うめ (本 337)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	西林末広	77.22
〃	1956	さかえ	32. 6. 2	第三玉塚 (本 360)	はるみ (本 995)	〃 〃 阿蘇町	〃 〃 〃	井武雄	77.02
〃	1957	第二さくら	32. 6. 1	鶴栄 (本 209)	さくら (予熊4090)	〃 〃 小国町	〃 〃 小国町	宮崎はま	77.18
〃	1958	つるみ	32. 1.23	鶴栄 (本 209)	さつき (予熊6903)	〃 〃 南小国村	〃 〃 南小国村	宇都宮ゆくよ	77.07
〃	1959	第三いずみ	32. 4. 3	栄昇 (本 314)	いずみ (本 434)	〃 〃 小国町	〃 〃 小国町	小田勇	77.10
〃	1960	第六ふゆる	32.10.30	光源 (本 229)	ふゆる (予熊3989)	〃 〃 白水村	〃 〃 南小国村	井順一	77.05
〃	1961	さくら	31. 7.10	玉栄 (本 144)	とくこ (予熊9942)	〃 〃 南小国村	〃 〃 〃	井はすえ	77.19
〃	1962	さかえ	32. 7.25	繁中 (本 169)	さかえ (予熊 14610)	〃 〃 白水村	〃 〃 小国町	宮崎千年	77.47
〃	1963	きよう三	32. 8.23	栄昇 (本 314)	おぐに三 (予熊4077)	〃 〃 小国町	〃 〃 〃	武石正義	77.03
〃	1964	はなまる	32. 9.20	第二紅葉 (本 154)	みつはな (予熊8946)	〃 上益城郡河原村	〃 上益城郡甲佐町	本田秋雄	77.17
〃	1965	わかみどり	32.11.12	栄宝 (本 239)	わかたけ (予熊 12655)	〃 下益城郡砥用町	〃 〃 〃	山下末喜	77.47
〃	1966	まゆみ	32. 9.21	勇山 (本 306)	かしは (予熊2804)	〃 人吉市古仏頂町	〃 〃 〃	福島茂	77.20
〃	1967	みどり	32. 8.10	産福 (予熊 773)	はつえ (予熊 13817)	〃 上益城郡甲佐町	〃 〃 〃	坂本又喜	77.30
〃	1968	ふく	32. 8.15	高栄 (本 221)	第六ふくえい (予熊3782)	〃 玉名郡菊水町	〃 〃 矢部町	歌野貞雄	77.01
〃	1969	ふじまる	32. 9. 8	初丸 (本 333)	第二ふじ (予熊 14757)	〃 上益城郡清和村	〃 〃 清和村	片山亥熊	77.60

本	1970	さかえ	昭和 32. 6.25	久浜 (本 149)	とくまる (予熊5559)	熊本県上益城郡矢部町	熊本県上益城郡矢部町	渡辺道晴	77.02
〃	1971	まるひさ	33. 1.20	第三玉塚 (本 360)	ふく (予熊2750)	〃 阿蘇郡阿蘇町	〃 〃 〃	村上清記	77.50
〃	1972	すぎはな	31.10. 7	矢桜 (本 184)	すぎやま (予熊2724)	〃 上益城郡矢部町	〃 〃 〃	山下義雄	77.18
〃	1973	あさひ	32. 9.10	丸浜 (本 377)	きくえい (予熊8546)	〃 菊池郡菊池町	〃 〃 御船町	酒井八蔵	77.04
〃	1974	ふくひかり	32. 3.25	城久 (本 237)	第二ひかり (予熊6997)	〃 下益城郡砥用町	〃 下益城郡砥用町	柿本新八	77.15
〃	1975	ゆうひかり	32. 4.11	勇波 (本 204)	みやひかり (予熊4152)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	上村綱雄	77.02
〃	1976	すぎ	31.10.30	勇波 (本 204)	かすちよ (予熊1378)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	津川勝	77.25
〃	1977	さかみえ	32. 7.18	黄城 (本 129)	いさえ (予熊6982)	〃 〃 〃	〃 〃 中央村	丸山政雄	77.09
〃	1978	よしはな	32. 6. 3	城久 (本 237)	たまなみ (本 816)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	鍬田末喜	77.00
〃	1979	ひさひかり	31.11. 4	黄丸 (本 238)	むらさめ (予熊6079)	〃 〃 中央村	〃 〃 〃	桑田政美	77.40
〃	1980	さかえる	32. 7.22	幸喜 (本 328)	ふじなり (予熊14502)	〃 上益城郡矢部町	〃 〃 〃	上村政義	77.43
〃	1981	やよい	32. 3.20	鶴富 (本 254)	こよい (予熊9515)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	明石清人	77.06
〃	1982	ますみ	32. 6.11	蘇山 (本 162)	ゆりはな (予熊 13653)	〃 下益城郡中央村	〃 〃 〃	櫛野実	77.05
〃	1983	まさなみ	32. 8. 5	大波 (本 316)	くにこま (予熊 10425)	〃 〃 砥用町	〃 〃 〃	成松政雄	77.46
〃	1984	はつひかり	32. 7.20	蘇山 (本 162)	ふじひかり (本 987)	〃 〃 中央村	〃 〃 〃	西坂実	77.08
〃	1985	ふじひめ	32. 7.28	福隆 (予熊 887)	たから (予熊 15287)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	川上実平	77.01
〃	1986	ふじなみ	32. 8. 6	城南 (予熊 882)	ふじやま (予熊 15303)	〃 〃 海東村	〃 〃 〃	白石周	77.12
〃	1987	まえはな	32. 4.25	重村 (本 273)	さくら一 (予熊5405)	〃 阿蘇郡白水村	〃 〃 〃	沢本新吾	77.17
〃	1988	こいし	31. 9.22	幸喜 (本 328)	こふじ (予熊6618)	〃 下益城郡豊野村	〃 〃 〃	渡辺茂	77.25

本	1989	つるよ	昭和 32. 9. 1	久藤 (本 285)	みのり (予熊 14646)	熊本県上益城郡御船町	熊本県豊野村	渡辺亦雄	77.34
〃	1990	はな	31. 4. 1	重月 (予熊 865)	さかえ (予熊 11464)	〃 阿蘇郡菅尾村	〃 〃 小川町	中村武一	77.68
〃	1991	あきこ	32. 8.22	蘇山 (本 162)	はる (予熊5113)	〃 上益城郡甲佐町	〃 〃 城南町	芳坂官喜	77.34
〃	1992	第三いみる	31. 6.18	豊玉 (予熊 883)	第二いみる (予熊 11402)	〃 阿蘇郡久木野村	福島県田村郡三春町	橋本今朝雄	77.03
〃	1993	第四いずみ	31.10. 2	波三 (本 317)	いずみ (予福(全和)29)	福島県田村郡田村町	〃 〃 田村町	石井虎夫	77.01
〃	1994	まるぞの	32.10.20	重丸 (本 190)	なかぞの (予熊 11544)	熊本県阿蘇郡高森町	福岡県浮羽郡田主丸町	石橋研次	77.27
〃	1995	たから	32. 9. 5	光源 (本 229)	第三きんせい (予熊 15495)	〃 〃 白水村	〃 〃 吉井町	内山藤市	77.05
〃	1996	まるこ	32. 5.22	重丸 (本 190)	はなみ (予熊 12781)	〃 〃 高森町	〃 〃 田主丸町	林田亀次郎	77.21
〃	1997	いつ	32. 8.10	重山 (本 339)	くにこ (予熊 13537)	〃 鹿本郡菊鹿村	熊本県山鹿市長坂	星子栄記	77.07
〃	1998	むらさき	32. 8. 8	武美 (本 214)	えいざん (予熊5695)	〃 山鹿市志々岐	〃 〃 志々岐	坂梨隆徳	77.02
〃	1999	きくえ	32. 8.10	武美 (本 214)	きく (本 596)	〃 〃 長坂	〃 〃 長坂	田中林之助	77.07
〃	2000	きよふじ	32. 9.20	幸盛 (本 340)	きよつき (本褐 49)	〃 〃 上吉田	〃 〃 〃	安藤光	77.04
〃	2001	まるみ	32. 2. 1	玉城 (本 336)	たつみ (本 189)	〃 鹿本郡鹿央村	〃 〃 小原	中島義広	77.13
〃	2002	さかえ	32. 6. 5	光蘇 (本 158)	ゆうこ (本 706)	〃 菊池郡旭志村	〃 〃 保多田	藤本巧	77.06
〃	2003	のぶこ	32. 8.15	朝日三 (本 163)	ふたば (予熊6129)	〃 玉名郡菊水町	〃 山鹿市石	大林逸	77.12
〃	2004	きくひめ	32.11. 1	菊光 (本 341)	はぎえ (予熊 342)	〃 山鹿市西浦	〃 〃 城	仲間青記	77.06
〃	2005	たちばな	32.11. 1	玉盛 (本 215)	たま (予熊 10834)	〃 〃 大原	〃 〃 〃	北原宇吉	77.36
〃	2006	ふくえ	31. 6.10	旭 (本 196)	たかえ (予熊 10806)	〃 球磨郡上村	〃 〃 小坂	池部軍蔵	77.14
〃	2007	ひかり	32. 9.26	武美 (本 214)	しらつゆ (予熊9564)	〃 山鹿市久原	〃 〃 蒲生	松山精一	77.08

本	2008	はつひめ	昭和 32. 9. 2	昌栄 (本 232)	はつはる (予熊 12347)	熊本県鹿本郡植木町	熊本県山鹿市蒲生	松山保	77.00
〃	2009	やえざくら	32. 9.20	幸盛 (本 340)	まる (予熊 184)	〃 山鹿市上吉田	〃 〃 上吉田	池田佐平	77.26
〃	2010	くま	32.10. 1	熊西 (本 378)	しま (予熊 14810)	〃 〃 鍋田	〃 〃 久原	大塚茂雄	77.13
〃	2011	きくみつ	32.12.20	重山 (本 339)	きくまつ (本 589)	〃 鹿本郡菊鹿村	〃 〃 〃	木庭計介	77.12
〃	2012	さちこ	33. 1. 1	幸盛 (本 340)	一さかえ (本 137)	〃 山鹿市久原	〃 〃 〃	竹下清	77.04
〃	2013	ひめにし	32.11. 9	熊西 (本 378)	しらぎく (予熊 12283)	〃 鹿本郡鹿北村	〃 〃 上吉田	松本梅香	77.53
〃	2014	ひめまる	32. 5.30	春山 (予熊 878)	はなまる (予熊7286)	〃 〃 〃	〃 鹿本郡鹿北村	川崎成道	77.26
〃	2015	こぎく	32. 6. 8	春山 (予熊 878)	まこと (予熊 14811)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	田中厚	77.08
〃	2016	すみ	32. 8.20	澄丸 (本 181)	第二ながまつ (予熊 12281)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	永田亘	77.06
〃	2017	はるやま	31.12.30	昌栄 (本 232)	しげこ (予熊 13582)	〃 〃 植木町	〃 〃 〃	松本春次	77.26
〃	2018	まつひめ	32.10. 2	隆盛 (本 313)	ふく (予熊 16482)	〃 山鹿市平山	〃 〃 菊鹿村	本田誠	77.08
〃	2019	きくすい	32. 6. 9	城 (本 156)	きく (本 145)	〃 菊池郡七城村	〃 〃 〃	東龍徳	77.29
〃	2020	ひさこ	32. 7.21	勝成 (本 119)	ふくこう (予熊3659)	〃 鹿本郡菊鹿村	〃 〃 〃	小川久人	77.61
〃	2021	第二にしき	32. 3.15	武山 (本 258)	にしき (予熊7986)	〃 阿蘇郡長陽村	〃 〃 〃	横田隆博	77.52
〃	2022	まるとく	32. 9.24	澄丸 (本 181)	さかえ (予熊 13528)	〃 鹿本郡鹿北村	〃 〃 〃	野小生幸人	77.09
〃	2023	はつはる	32. 9.21	高栄 (本 221)	にしき (予熊 11341)	〃 菊池郡菊池町	〃 〃 〃	田村誠	77.03
〃	2024	はるこ	33. 1.23	第三福栄 (本 249)	きくさかえ (予熊9850)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	真弓辰太	77.29
〃	2025	うめ	32. 5.13	光山 (本 295)	へいわ (予熊1678)	〃 上益城郡矢部町	〃 〃 〃	徳丸寅熊	77.04
〃	2026	しようえい	32.11.24	第三福栄 (本 249)	さざなみ (予熊 14982)	〃 菊池郡菊池町	〃 〃 〃	徳永寛次	77.35

本	2027	第二はつうめ	昭和 32. 8.12	福原 (本 329)	はつうめ (予熊 14170)	熊本県阿蘇郡一の宮町	熊本県鹿本郡菊鹿村	富田静夫	77.23
〃	2028	とよにしき	32. 8.14	豊殖 (本 379)	まつ (本 1019)	〃 鹿本郡鹿北村	〃 〃 鹿本町	水足鶴平	77.11
〃	2029	さかえ	32.11. 8	高野 (本 373)	はつはな (予熊9836)	〃 菊池郡菊池町	〃 〃 〃	松本孝敏	77.47
〃	2030	たちばな	33. 3. 2	丸波 (予熊 886)	ふじ (本 448)	〃 鹿本郡鹿央村	〃 〃 〃	平木義明	77.10
〃	2031	きくふじ	32. 1.18	南山 (本 263)	はなまる (予熊8640)	〃 阿蘇郡阿蘇町	〃 〃 〃	国本賢一	77.08
〃	2032	つるきく	33. 1. 8	吉鶴 (本 251)	はる (予熊 13555)	〃 鹿本郡鹿本町	〃 〃 〃	平田清	77.06
〃	2033	きくみ	31.12. 8	武美 (本 214)	はるみつ (予熊 13542)	〃 〃 菊鹿村	〃 〃 〃	宮本進	77.31
〃	2034	よしえ	32.10.20	武秋 (本 334)	たみえ (予熊2412)	〃 〃 植木町	〃 〃 鹿央村	村上久	77.10
〃	2035	たい	32. 9. 5	光源 (本 229)	ふくの (予熊 15531)	〃 阿蘇郡白水村	〃 〃 〃	本田美武	77.30
〃	2036	みどり	32.10.24	幸盛 (本 340)	たから (予熊8306)	〃 鹿本郡鹿本町	〃 〃 〃	立山久秀	77.15
〃	2037	まるはな	33. 2. 2	久丸 (本 332)	はつはな (本 287)	〃 阿蘇郡波野村	〃 鹿本郡植木町	今村末男	77.15
〃	2038	まるえい	32.12.10	重丸 (本 190)	さかえ (予熊 11406)	〃 〃 久木野村	〃 〃 〃	本山務	77.13
〃	2039	ふじこ	32. 6. 2	幸盛 (本 340)	ゆき (予熊 14800)	〃 山鹿市上吉田	〃 〃 〃	上村明治	77.06
〃	2040	はつはな	32.11.11	波弘 (本 293)	はつこ (予熊8611)	〃 菊池郡七城村	〃 〃 〃	永田義人	77.24
〃	2041	ふじこ	32.11.17	春勇 (本 212)	やよい (予熊5020)	〃 鹿本郡田底村	〃 〃 〃	永原弘	77.03
〃	2042	やよい	32.10.21	浜栄 (本 335)	かねまる (予熊 17551)	〃 〃 植木町	〃 〃 〃	金子一正	77.28
〃	2043	はるみ	32.10.22	淵真 (本 283)	はる (予熊 14872)	〃 〃 鹿央村	〃 〃 〃	広岡一美	77.16
〃	2044	みつこ	32. 8. 1	第三福栄 (本 249)	たなばた (予熊4939)	〃 菊池市菊池町	〃 〃 〃	広岡正	77.29
〃	2045	まつこ	32. 1.26	春勇 (本 212)	まつえ (予熊5850)	〃 鹿本郡田底村	〃 〃 田底村	松薬幸記	77.24

本	2046	くらばる	昭和 32. 9. 5	久浜 (本 141)	はなまる (予福 43)	熊本県阿蘇郡小国町	福岡県朝倉郡小石原村	森山善造	77.01
〃	2047	つつじ	32.10.28	金川 (本 357)	はつさくら (予熊9501)	〃 水俣市久木野	熊本県水俣市越小場	宮本成之	77.13
〃	2048	はなふく	32. 2.10	花峰 (予熊 876)	ふくひる (本 617)	〃 阿蘇郡波野村	〃 芦北郡芦北町	中山安美	77.06
〃	2049	はつぎく	32. 3.10	米丸 (本 856)	さかえ (予熊14857)	〃 鹿本郡菊鹿村	〃 玉名郡玉東村	高田十平	77.21
〃	2050	はなえ	33. 2.14	久藤 (本 285)	やよい (予熊12086)	〃 上益城郡矢部町	〃 〃 天水村	米野満男	77.13
〃	2051	みのる	32. 5. 6	梅錦 (本 270)	めぐみ (予熊14898)	〃 鹿本郡植木町	〃 〃 岱明村	鍛治尾実	77.02
〃	2052	はるこ	32. 8.10	幸盛 (本 340)	ひさよ (予熊6554)	〃 山鹿市下吉田	〃 玉名市築地	島村又男	77.19
〃	2053	よし	32. 8.25	正光 (予長 26)	よしみ (予熊5174)	〃 玉名郡長洲町	〃 玉名郡岱明村	植田又喜	77.00
〃	2054	やよい	31.12. 2	丸園 (本 252)	とみまる (予熊3431)	〃 阿蘇郡阿蘇町	〃 〃 天水村	田上隆	77.12
〃	2055	きよくえい	32. 6.26	光蘇 (本 158)	さかえ (予熊3606)	〃 菊池郡旭志村	〃 菊池郡旭志村	吉良秋人	77.04
〃	2056	さかえ	32. 4. 1	光蘇 (本 158)	あさこ (本 432)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	大塚仁八	77.01
〃	2057	はるぎく	33. 3.12	高野 (本 373)	やえぎく (予熊6851)	〃 〃 〃	〃 〃 七城村	中山次郎	77.12
〃	2058	つきえ	32.10. 1	丸浜 (本 377)	はな (予熊6870)	〃 〃 七城村	〃 〃 〃	佐々木ハツミ	77.27
〃	2059	みつひめ	32.11. 5	第三福栄 (本 249)	はつえい (予熊11209)	〃 菊池市赤星	〃 〃 〃	西口利勝	77.29
〃	2060	はなこ	32. 7. 2	光蘇 (本 158)	きくさくら (予熊11211)	〃 菊池郡旭志村	〃 〃 〃	池田一夫	77.02
〃	2061	しんわ	31.11. 4	玉栄 (本 118)	こうわ (予熊9822)	〃 鹿本郡菊鹿村	〃 〃 〃	安達逸雄	77.05
〃	2062	第四ふじえ	32. 9.12	丸浜 (本 377)	はつふじ (予熊1344)	〃 菊池郡七城村	〃 〃 〃	坂井政行	77.67
〃	2063	はるみ	33. 1. 8	丸浜 (本 377)	はるな (予熊9728)	〃 〃 〃	〃 〃 〃	出口松喜	77.04
〃	2064	きくえい	31. 9.18	蘇栄 (本 161)	ふく二 (予熊5602)	〃 阿蘇郡内牧町	〃 菊池市伊倉	出口幸雄	77.06

本	2065	みのる	昭和 32.10.18	昭良 (本282)	ふゆる (予熊9775)	熊本県菊池市日生野	熊本県菊池市日生野村 藤本熊彦	77.11
〃	2066	たから	32. 6.20	光源 (本229)	ふゆる (予熊11517)	〃 阿蘇郡高森町	〃 〃 四丁分 福田寅太	77.50
〃	2067	第二きく	32. 9.13	第三福栄 (本249)	きく (予熊11186)	〃 菊池郡七城村	〃 〃 戸城 園田登	77.56
〃	2068	ひめゆり	32. 8.20	浜三 (本280)	みつぐ (予熊5968)	〃 菊池市立門	〃 〃 立門村 井上角次	77.96
〃	2069	第二あさひ	32. 8. 9	蘇星 (本281)	あさひ (予熊11739)	〃 〃 平良々石	〃 〃 伊野 赤星惟信	77.10
〃	2070	みつえい	32. 6.22	蘇星 (本281)	あきかぜ (予熊2094)	〃 菊池郡旭志村	〃 〃 岩下 田中真喜義	77.08

暑中御見舞申し上げます

昭和三十五年盛夏

日本褐毛和牛登録協会

会長　佐々木清綱

副会長　河津寅雄

同　小屋迫一

常務理事　高野守雄

同　佐藤正次

外役職員一同

新刊実費頒布案内

○ 褐毛和種（種雄牛）の……二〇〇円
正常発育曲線

○ 褐毛和種登録簿第四巻…一、〇〇〇円
（送料共）

代金前納申込のこと

申込先　熊本市行幸町一九　熊本県庁内

社団法人　日本褐毛和牛登録協会

振替　熊本　一、五一〇

第 6 号　昭和35年7月1日印刷
昭和35年7月15日発行

編集兼発行者　桑原重良
発行所　日本褐毛和牛登録協会
熊本県庁畜産課内
振替熊本 1510

印刷者　白石豊
印刷所　熊本市島崎町宮内 290
白石印刷出版株式会社
TEL ②6812